

令和元年度 大田区高齢者等実態調査

【速報値】

この中間報告は、高齢者等実態調査の設問項目のうち、「自助」、「互助」、「地域のつながり」、「今後の意向」、「認知症」について、結果を抜粋して編集したものです。

今後は、報告書として、クロス集計や図表の解説などを追加した冊子をとりまとめます。

令和2年2月
大田区

目次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査設計	1
3 回収状況	2
4 本書の見方	2
(1) 本書を読むにあたっての注意	2
(2) 日常生活圏域について	3
(3) ウェイトバック集計について	4
(4) 標本誤差について	5
II 調査結果の抜粋	6
1 自助	6
(1) 充実した生活を送るために今後取り組みたいこと	6
(2) 充実した生活を送るために実践していること	8
(3) 重度化防止のために取り組みたいこと	10
(4) 重度化防止のために今取り組んでいること	12
2 互助	14
(1) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	14
(2) 介護保険外サービスの実施状況	19
3 地域のつながり	20
(1) 地域のつながりの必要性について	20
(2) 地域のつながりを実際に感じる程度について	22
4 今後の意向	245
(1) 介護が必要になった場合の暮らし方	255
5 認知症	299
(1) 認知症の心配が出てきたときの相談先	299
(2) 認知症に優しい地域づくりの実現に必要な取り組みや支援	333

I 調査の概要

1 調査目的

令和2年度に、令和3年度から令和5年度を計画期間とする第8期「おおた高齢者施策推進プラン」(以下「8期プラン」という)を策定します。

この調査は、8期プランの基礎資料として、介護保険の被保険者の区の高齢者福祉サービスや介護サービスに対する意見・意向等を把握するとともに、介護サービス事業者の事業の現状や今後の事業展開等を把握することを目的として実施しました。

2 調査設計

本調査は、大別すると、大田区の介護保険被保険者の方を対象とする調査と、区内の介護サービス事業者を対象とする調査から構成されています。調査基準日は令和元年10月1日です。

また、各調査の対象者、調査方法、実施期間は、以下の通りです。

調査の種類	調査対象者	調査方法	実施期間
①高齢者一般調査	在宅で生活する元気高齢者、総合事業対象者、要支援1、2の要支援認定者を対象	・郵送配付ー 郵送回収 ・はがきによる 督促1回 ・③④調査は、電子申請サービスによる回答も併用	令和元年11月14日 ～ 令和元年12月5日
②要介護認定者調査	在宅で生活する要介護1から要介護5の要介護認定者を対象		
③第2号被保険者調査	要支援・要介護認定を受けていない第2号被保険者のうち55歳から64歳の人を対象		
④介護サービス事業者調査	区内で介護サービス、居宅支援事業所を運営する法人を対象		
⑤未把握ひとり暮らし高齢者訪問調査	75歳以上で、単身、かつひとり暮らし登録台帳の未登録者、かつ要支援・要介護認定を受けていない、かつ見守りキーホルダーの未登録者	・訪問面接調査	令和元年6月1日 ～ 令和元年10月31日

3 回収状況

各調査の回収状況は、以下のとおりです。

調査の種類	調査対象者数 [A]	回収数	有効回収数 [B]	有効回収率 [B ÷ A × 100]
①高齢者一般調査	5,600人	4,049人	4,047人	72.3%
	・白票が2人あり、本調査の分析対象となったのは4,047人である。			
②要介護認定者調査	3,200人	2,105人	1,645人	51.4%
	・令和元年10月1日現在で抽出したが、調査を実施した時点ですでに入所・入院している方が163人いた。 ・また、要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）の活用については、285人に同意いただけなかった。 ・白票が12人あり、本調査の分析対象となったのは1,645人である。			
③第2号被保険者調査	1,000人	601人	599人	59.9%
	・白票が2人あり、本調査の分析対象となったのは599人である。			
①～③計	9,800人	6,755人	6,291人	64.2%
④介護サービス事業者調査	600事業者	498事業者	495事業者	82.5%
	・白票が3事業者あり、本調査の分析対象となったのは495事業者である。			
⑤未把握ひとり暮らし高齢者訪問調査	8,771人	1,637人	451人	%
	・対象者と会えなかった（調査拒否を含む）が1,016人いた。 ・同居者（2世帯住宅、同一敷地内に家族がいる場合を含む）がいる人が170人いた。			

4 本書の見方

（1）本書を読むにあたっての注意

- ◆図表中の「n」（number of case の略）は、各設問に該当する回答者の総数であり、百分率（%）の母数を表しています。
- ◆掲載した図表の単位は、特に断りのない限り百分率（%）で示しています。
百分率（%）は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。
- ◆回答者が2つ以上回答することのできる質問（複数回答）については、百分率（%）の合計は100%を超えることがあります。
- ◆統計数値を記述するにあたり、割での表記を用いている場合があります。その際の目安は、おおむね以下のとおりとしています。また、状況に応じて、〇割台、〇割以上、〇割前後などとまとめている場合もあります。

例	表現
17.0 ～ 19.9%	約2割
20.0 ～ 20.9%	2割
21.0 ～ 22.9%	2割を超える
23.0 ～ 26.9%	2割台半ば

(2) 日常生活圏域について

◆以下の特別出張所が所管する 18 地域を日常生活圏域として、集計を行っています。

日常生活圏域名	特別出張所所管区域
大森東	大森東 4～5 丁目、大森南 1～5 丁目（1・2 丁目の一部を除く）、大森中 1 丁目の一部・2 丁目の一部・3 丁目の一部
大森西	大森東 1～3 丁目、大森西 1～7 丁目、大森中 1～3 丁目（1・2・3 丁目の一部を除く）、大森本町 1～2 丁目（1 丁目の一部を除く）、ふるさとの浜辺公園、平和の森公園
入新井	大森北 1～6 丁目、大森本町 1 丁目の一部、昭和島 1～2 丁目、平和島 1～6 丁目、京浜島 1～3 丁目、城南島 1～7 丁目、東海 1～6 丁目、山王 1～2 丁目
馬 込	東馬込 1～2 丁目、西馬込 1～2 丁目、南馬込 1～6 丁目（6 丁目の一部を除く）、北馬込 1～2 丁目、中馬込 1～3 丁目
池 上	南馬込 6 丁目の一部、池上 1～8 丁目（3 丁目の一部を除く）、中央 5～8 丁目
新井宿	山王 3～4 丁目、中央 1～4 丁目
嶺 町	南雪谷 2 丁目の一部・4 丁目の一部、東嶺町、西嶺町、北嶺町（一部の番地を除く）、田園調布本町、田園調布南
田園調布	雪谷大塚町（1 番地を除く）、田園調布 1～5 丁目
鶉の木	南久が原 1～2 丁目、鶉の木 1～3 丁目、千鳥 1～3 丁目（1・2・3 丁目の一部を除く）
久が原	池上 3 丁目の一部、東雪谷 5 丁目の一部、南雪谷 5 丁目の一部、北嶺町の一部の番地、久が原 1～6 丁目、千鳥 1 丁目の一部、仲池上 1 丁目の一部・2 丁目の一部
雪 谷	上池台 1～5 丁目（1 丁目の一部を除く）、雪谷大塚町の 1 番地のみ、東雪谷 1～5 丁目（5 丁目の一部を除く）、南雪谷 1～5 丁目（2・4・5 丁目の一部を除く）、南千束 1 丁目の一部・2 丁目の一部・3 丁目の一部、北嶺町の一部の番地、石川町 2 丁目の一部、仲池上 1～2 丁目（1・2 丁目の一部を除く）
千 束	上池台 1 丁目の一部、南千束 1～3 丁目（1・2・3 丁目の一部を除く）、北千束 1～3 丁目、石川町 1～2 丁目（2 丁目の一部を除く）
糞 谷	大森南 1 丁目の一部・2 丁目の一部、東糞谷 1～6 丁目、西糞谷 1～4 丁目（1 丁目の一部を除く）、北糞谷 1～2 丁目
羽 田	羽田 1～6 丁目、羽田旭町、羽田空港 1～3 丁目、本羽田 1～3 丁目、萩中 1～3 丁目
六 郷	南蒲田 2 丁目の一部、東六郷 1～3 丁目、西六郷 1～4 丁目、南六郷 1～3 丁目、仲六郷 1～4 丁目
矢 口	千鳥 1 丁目の一部・2 丁目の一部・3 丁目の一部、矢口 1～3 丁目、下丸子 1～4 丁目
蒲田西	西蒲田 1～8 丁目、新蒲田 1～3 丁目、東矢口 1～3 丁目、多摩川 1～2 丁目
蒲田東	蒲田 1～5 丁目、東蒲田 1～2 丁目、南蒲田 1～3 丁目（2 丁目の一部を除く）、蒲田本町 1～2 丁目、西糞谷 1 丁目の一部

(3) ウェイトバック集計について

①高齢者一般調査と②要介護認定者調査では、日常生活圏域別の傾向を把握することを目的に、人口の少ない地域においても一定の有効回収数を確保するため、母集団に対する各圏域の人口の構成比とは異なるサンプル（標本）数を抽出しました。

よって、集計にあたっては、データにウェイトを乗じて算出するウェイトバック集計を活用しています。

ウェイトバック集計とは、回収されたサンプル（標本）を母集団（対象人口）の構成に合わせて集計する方法です。母集団と回収サンプルの構成比が異なる場合に、属性の抽出率や回収率の違いを補正し母集団構成比に復元する場合などに使用します。

今年度の調査における各日常生活圏域のウェイトは下記のとおりです。

●高齢者一般調査

日常生活圏域		母集団※ ¹	割合(%)	回収数	ウェイト
		134,790	100.00	4045.00	33.32
1	大森東	4,046	3.00	231.00	17.52
2	大森西	11,951	8.87	231.00	51.74
3	入新井	6,557	4.86	221.00	29.67
4	馬込	9,870	7.32	233.00	42.36
5	池上	8,619	6.39	229.00	37.64
6	新井宿	4,266	3.16	208.00	20.51
7	嶺町	5,029	3.73	219.00	22.96
8	田園調布	4,553	3.38	210.00	21.68
9	鶉の木	4,807	3.57	219.00	21.95
10	久が原	5,288	3.92	238.00	22.22
11	雪谷	9,239	6.85	232.00	39.82
12	千束	4,865	3.61	211.00	23.06
13	糺谷	7,309	5.42	214.00	34.15
14	羽田	7,716	5.72	227.00	33.99
15	六郷	13,593	10.08	254.00	53.52
16	矢口	7,748	5.75	243.00	31.88
17	蒲田西	11,191	8.30	217.00	51.57
18	蒲田東	8,143	6.04	208.00	39.15

●要介護認定者調査

母集団※ ²	割合(%)	回収数	ウェイト
7,905	100.00	2093.00	3.78
251	3.18	116.00	2.16
771	9.75	116.00	6.65
321	4.06	109.00	2.94
473	5.98	111.00	4.26
545	6.89	126.00	4.33
240	3.04	112.00	2.14
288	3.64	110.00	2.62
242	3.06	109.00	2.22
312	3.95	119.00	2.62
328	4.15	116.00	2.83
548	6.93	111.00	4.94
307	3.88	105.00	2.92
497	6.29	117.00	4.25
469	5.93	124.00	3.78
782	9.89	121.00	6.46
464	5.87	119.00	3.90
643	8.13	128.00	5.02
424	5.36	124.00	3.42

※1 高齢者一般調査の母集団は調査基準日の高齢者人口（65～90歳）から要介護1～5認定者を除いた数です。

※2 要介護認定者調査の母集団は、調査基準日の要介護1～5認定者（65～90歳）から、特別養護老人ホーム、老人保健施設、特定施設、グループホーム等の施設に入所・入居している人及び介護保険サービスの利用実績のない新規の申請者を除いた数です。

(4) 標本誤差について

標本誤差とは、今回のような母集団（全体）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいいます。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なりますが、その誤差を数学的に計算することが可能です。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なります。下記に、社会調査で一般的に用いられている表を参考に掲載します。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\left[\begin{array}{l} N = \text{母集団数} \\ n = \text{比率算出の基数 (回答者数)} \\ p = \text{回答の比率 (\%)} \end{array} \right]$

(参考)

回答比率 (p) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
5,000	±0.83%	±1.11%	±1.27%	±1.36%	±1.39%
4,000	±0.93%	±1.24%	±1.42%	±1.52%	±1.55%
3,000	±1.07%	±1.43%	±1.64%	±1.75%	±1.79%
2,000	±1.31%	±1.75%	±2.01%	±2.15%	±2.19%
1,000	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%
500	±2.63%	±3.51%	±4.02%	±4.29%	±4.38%
250	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} \cong 1$ として算出しています。なお、計算式の信頼度は95%です。

標本誤差の大きさは、「回答者数（標本数）が少ないほど大きく」、また、「回答比率が低いほど大きく」なります。

例えば、調査の中のある設問の回答数が4,000であり、Aと回答した人の比率が60%だった場合、その結果を全体（母集団）の結果として考える時に、「大小1.52%の誤差がある、つまりAの回答比率は58.48~61.52%である」とみることができます。

II 調査結果の抜粋

1 自助

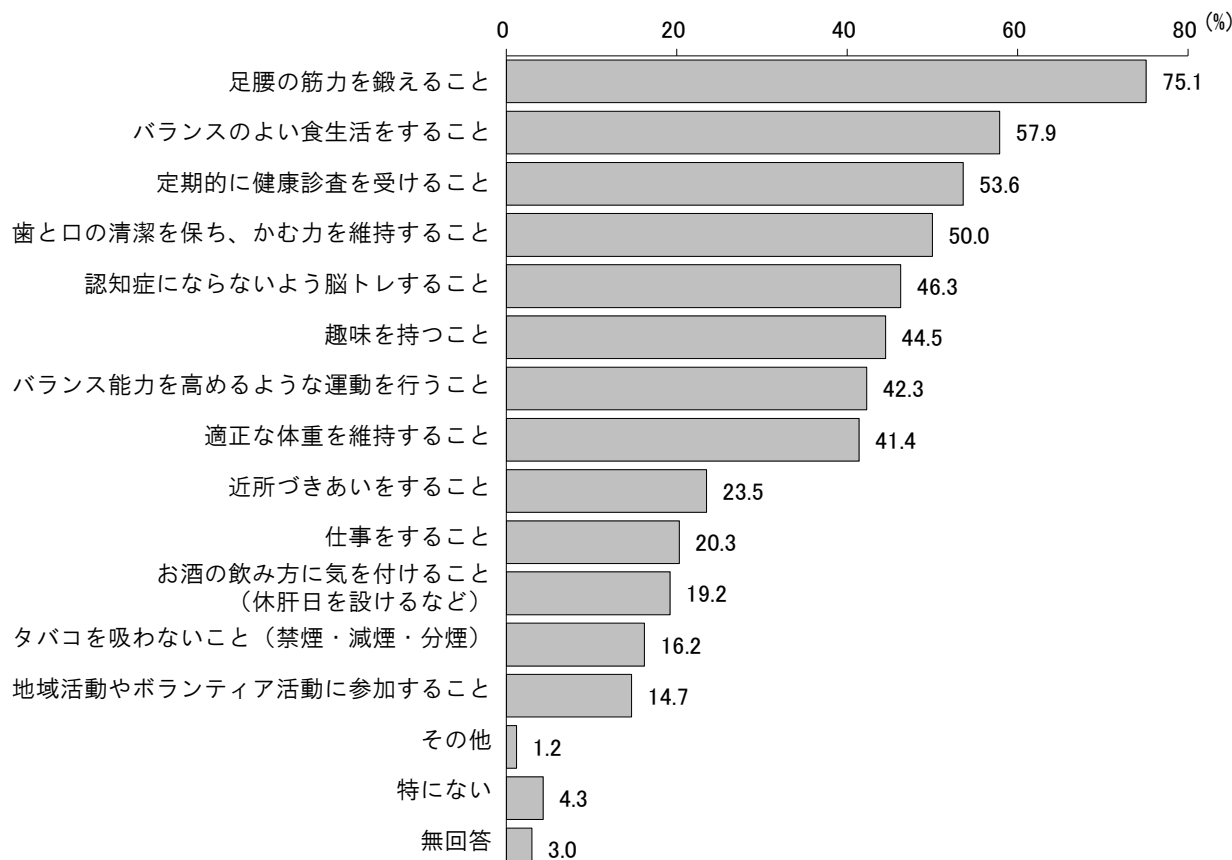
(1) 充実した生活を送るために今後取り組みたいこと

問 13-1 あなたは、いきいきと充実した高齢期の生活を送るために、これから、取り組んだほうがよいことは何だと思えますか。

①高齢者一般調査

- 充実した高齢期の生活を送るために取り組んだほうがよいことは、「足腰の筋力を鍛えること」が 75.1%で最も高くなっています。次いで「バランスのよい食生活をする事」が 57.9%、「定期的に健康診査を受けること」が 53.6%、「歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること」が 50.0%などとなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、「足腰の筋力を鍛えること」では雪谷・千束が全体より高くなっています。また「バランスのよい食生活をする事」では雪谷・鶉の木・田園調布が、「歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること」では嶺町・千束がそれぞれ全体より高くなっています。

図表 1 取り組んだほうがよいこと



図表2 取り組んだほうがよいこと（日常生活圏域別）

		と足腰の筋力を鍛えること	をバランスのよい食生活	定期的健康診査を受けること	かむ口の清潔を保ち、歯と力を維持すること	脳認知症にならないよう	趣味を持つこと	バランス能力を高めること	適正な体重を維持すること	と近所づきあいをすること	仕事をすること	けること（休肝日を設けるなど）	お酒の飲み方に気を付けること（禁煙・減煙・分煙）	タバコを吸わないこと	地域活動やボランティアに参加すること	その他	特になし	無回答
全体		75.1	57.9	53.6	50.0	46.3	44.5	42.3	41.4	23.5	20.3	19.2	16.2	14.7	1.2	4.3	3.0	
日常生活圏域別	大森東	74.9	55.4	52.4	51.1	46.8	47.2	44.2	40.7	20.8	22.5	21.6	16.5	13.9	0.9	4.8	2.2	
	大森西	74.5	58.0	55.8	50.2	48.9	42.9	40.7	43.3	25.5	22.5	22.1	17.7	16.0	-	2.2	3.0	
	入新井	71.0	53.4	49.3	51.1	40.3	43.4	44.3	43.0	22.2	20.4	17.6	19.0	13.6	1.4	6.3	5.0	
	馬込	75.1	57.9	53.2	54.1	43.3	45.1	45.5	44.6	26.2	25.8	18.9	16.7	10.7	1.3	3.4	3.4	
	池上	73.4	57.6	52.4	51.5	45.0	45.9	42.4	36.7	21.4	24.9	15.3	16.2	15.7	0.9	4.4	3.9	
	新井宿	75.5	57.2	48.6	49.5	45.2	44.2	45.2	39.9	21.6	14.9	19.7	16.3	13.0	1.4	6.3	3.4	
	嶺町	76.3	56.6	53.0	55.7	43.4	50.2	46.6	43.4	24.2	20.5	17.4	16.4	17.4	2.3	3.2	5.5	
	田園調布	75.2	62.9	51.9	52.9	41.4	45.7	41.4	40.5	20.0	20.0	13.8	15.2	11.9	2.9	7.1	2.4	
	鶉の木	71.7	63.5	53.4	53.4	45.7	42.0	37.4	37.9	25.6	22.4	23.3	17.4	14.6	1.8	6.4	2.7	
	久が原	73.5	55.5	53.8	52.1	47.9	50.0	42.0	42.0	20.6	19.3	18.1	16.4	13.4	1.7	4.6	1.7	
	雪谷	82.3	63.8	56.0	54.7	50.9	45.3	50.4	45.7	22.0	19.4	22.4	16.4	19.0	1.3	2.2	2.2	
	千束	80.1	60.7	54.5	55.5	50.2	45.0	48.8	46.4	20.4	15.6	20.4	13.7	12.8	1.9	4.7	2.4	
	糀谷	72.9	58.9	53.7	50.0	45.8	44.9	34.6	43.0	28.0	23.8	20.6	16.4	12.1	0.5	4.7	5.1	
	羽田	71.4	55.5	50.7	43.2	45.4	41.4	32.6	39.2	24.7	19.4	15.0	11.9	13.7	0.4	5.3	3.1	
	六郷	73.2	55.1	54.7	44.1	46.9	42.1	42.1	37.4	22.4	14.6	16.5	16.5	13.4	-	5.5	3.5	
	矢口	77.4	61.3	54.7	51.9	47.3	41.6	46.5	40.7	29.6	22.6	25.5	17.3	18.9	1.6	4.9	2.5	
蒲田西	77.4	55.8	54.4	43.3	47.9	47.0	38.7	41.5	18.9	18.4	19.4	17.5	15.7	1.4	3.2	1.4		
蒲田東	76.0	56.7	55.8	49.0	45.7	42.8	41.3	40.9	25.0	18.8	19.2	12.0	15.4	2.9	2.9	1.4		

第2号被保険者調査（※）

③ 第2号被保険者調査（問11①）

- 第2号被保険者（本調査では、要支援・要介護認定を受けていない第2号被保険者で55歳から64歳の人。以下同じ。）の方で、充実した高齢期の生活を送るために取り組んだほうがよいことは、「足腰の筋力を鍛えること」が最も高くなっています（76.5%）。次いで「バランスのよい食生活をする事」（65.3%）、「定期的健康診査を受けること」（58.1%）、「趣味を持つこと」（57.1%）などとなっています。

（※）③ 第2号被保険者調査は、ウェイトバック集計を行っていないことから、
①高齢者一般調査 ②要介護認定者調査 と単純に比較することができないため、この中間報告では、結果のみお示ししています。

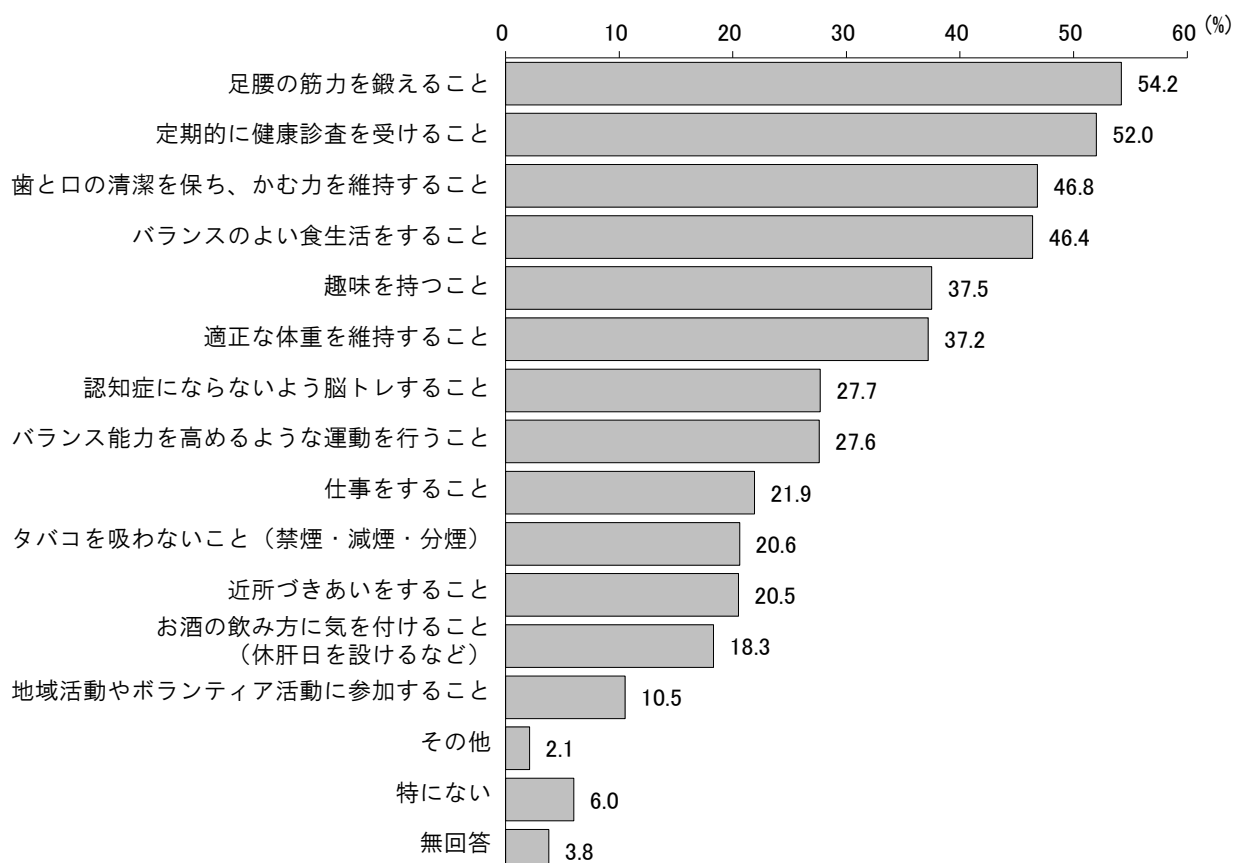
(2) 充実した生活を送るために実践していること

問 13-2 あなたは、いきいきと充実した高齢期の生活を送るために、今、実践していることはありますか。

①高齢者一般調査

- 充実した高齢期の生活を送るために今、実践していることは、「足腰の筋力を鍛えること」が54.2%で最も高くなっています。次いで「定期的に健康診査を受けること」が52.0%、「歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること」が46.8%、「バランスのよい食生活をする」ことが46.4%などとなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、「足腰の筋力を鍛えること」では千束・嶺町が高くなっています。また「定期的に健康診査を受けること」では矢口・久が原で、「歯と口の清潔を保ち、かむ力を維持すること」では千束・田園調布でそれぞれ全体より高くなっています。

図表3 実践していること



図表4 実践していること（日常生活圏域別）

		と足腰の筋力を鍛えること	定期的に健康診査を受けること	歯と口の清潔を保持すること	バランスのよい食生活をする	趣味を持つこと	適正な体重を維持すること	認知症にならないよう脳トレすること	バランス能力を高めるような運動を行うこと	仕事をする	（タバコを吸わないこと・禁煙・減煙・分煙）	近所づきあいをする	お酒の飲み方に気を付けること（休肝日を設けるなど）	地域活動やボランティア活動に参加すること	その他	特にな	無回答
全体		54.2	52.0	46.8	46.4	37.5	37.2	27.7	27.6	21.9	20.6	20.5	18.3	10.5	2.1	6.0	3.8
日常生活圏域別	大森東	52.8	53.2	42.9	45.5	36.4	35.9	26.4	26.8	23.4	19.5	21.2	17.7	10.8	0.9	6.9	3.0
	大森西	53.7	53.7	43.7	39.4	34.2	36.8	28.1	21.6	25.5	19.0	21.2	18.2	12.1	0.4	3.9	5.2
	入新井	57.9	46.2	51.6	46.6	34.8	44.3	26.7	37.1	19.9	24.4	19.9	15.4	7.2	2.7	7.2	5.4
	馬込	54.1	54.1	51.5	46.4	38.2	39.1	26.2	27.0	22.7	21.5	24.0	18.0	9.4	3.9	3.0	3.9
	池上	51.5	50.2	45.9	50.7	37.6	34.9	30.1	29.7	24.0	21.0	18.3	18.8	12.2	3.5	4.8	2.6
	新井宿	57.2	49.5	49.5	45.2	41.3	33.7	27.9	29.3	17.8	20.2	18.3	19.7	13.9	1.0	7.2	2.9
	嶺町	62.1	54.3	51.6	45.7	43.8	38.4	28.8	34.2	18.3	24.2	19.6	21.0	12.8	2.7	3.7	5.9
	田園調布	59.0	53.8	52.4	51.4	44.8	37.6	27.1	31.9	19.0	24.3	14.8	20.0	5.7	2.9	7.6	2.4
	鶉の木	48.9	47.5	48.9	50.2	34.2	34.2	30.6	25.1	21.5	21.5	23.3	21.5	11.9	2.7	8.7	2.3
	久が原	53.4	58.0	49.6	52.9	42.4	35.7	31.1	29.0	25.2	24.4	20.6	21.4	5.9	2.9	5.9	2.1
	雪谷	57.8	53.0	49.6	53.0	43.5	46.1	28.4	36.6	24.1	20.7	20.3	20.7	8.2	1.7	3.4	3.0
	千束	64.5	55.9	54.5	55.0	44.5	43.6	28.0	37.0	21.3	17.1	19.9	18.0	12.3	2.4	3.3	2.4
	糀谷	50.9	50.9	47.2	42.5	36.0	34.6	31.8	20.6	23.4	18.7	24.8	17.3	10.3	0.9	8.9	5.6
	羽田	46.3	45.8	40.1	39.2	34.8	36.1	26.4	19.8	22.5	18.9	22.0	16.7	11.0	0.9	7.5	3.1
	六郷	53.5	48.0	40.6	42.1	33.5	33.5	28.0	26.4	16.5	20.1	21.7	18.1	9.8	1.2	9.8	5.9
	矢口	58.8	60.5	50.6	52.3	42.4	35.8	25.9	28.4	23.0	24.7	21.0	24.3	10.7	3.3	4.9	3.3
	蒲田西	47.0	51.6	40.6	44.7	33.6	33.6	23.5	21.2	20.7	17.1	15.2	14.3	11.5	1.4	5.5	4.1
蒲田東	57.2	52.4	48.1	46.6	32.7	38.9	26.9	27.9	23.1	19.7	21.2	14.4	12.5	3.4	7.2	1.0	

第2号被保険者調査

③ 第2号被保険者調査（問11②）

- 第2号被保険者の方で、充実した高齢期の生活を送るために実践していることは、「定期的に健康診査を受けること」と「仕事をする」が同率で最も高くなっています（55.4%）。次いで「バランスのよい食生活をする」(47.2%)、「足腰の筋力を鍛えること」(46.9%)などとなっています。

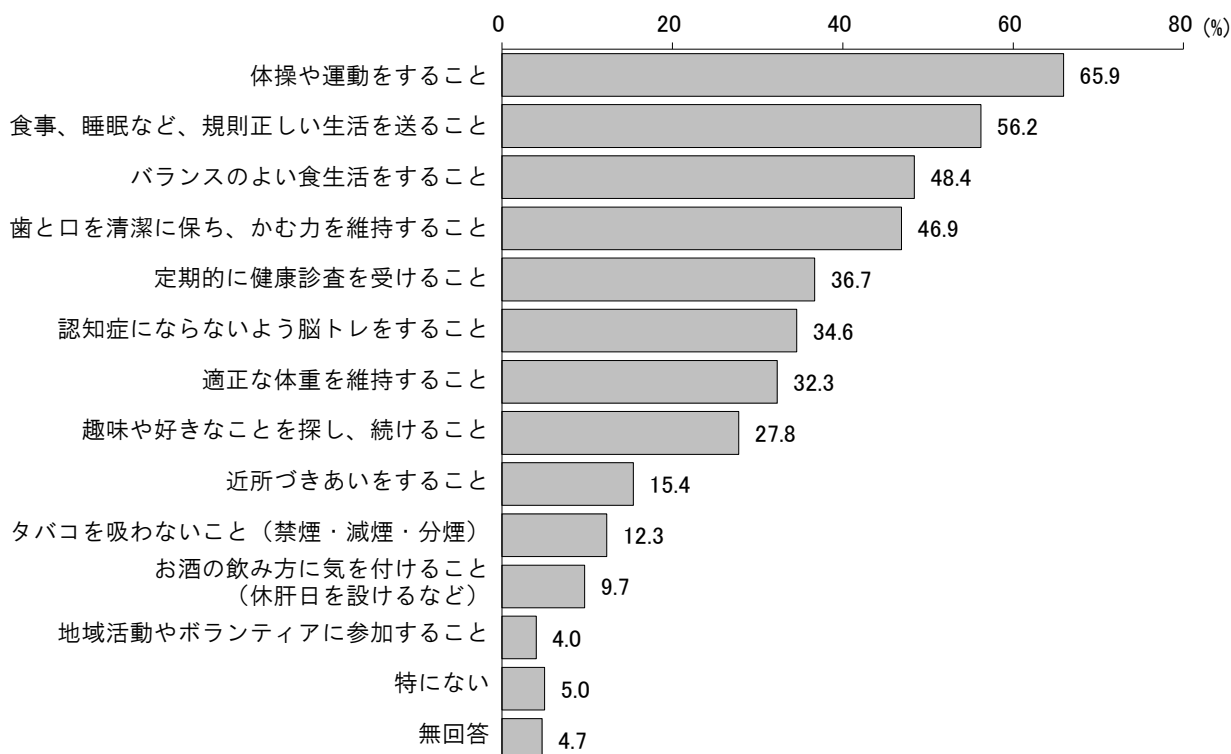
(3) 重度化防止のために取り組みたいこと

問 15-1 あなたは、要介護度状態の維持・改善に向けて、これから、取り組んだほうがよいことは何だと思いますか。

②要介護認定者調査

- 要介護認定を受けている方で、充実した高齢期の生活を送るために取り組んだほうがよいことは、「体操や運動をすること」が65.9%で最も高くなっています。次いで「食事、睡眠など、規則正しい生活を送ること」が56.2%、「バランスのよい食生活をする事」が48.4%、「歯と口を清潔に保ち、かむ力を維持すること」が46.9%などとなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較で見ると、「体操や運動をすること」では六郷・池上・新井宿が全体より高くなっています。また「食事、睡眠など、規則正しい生活を送ること」では千束・雪谷・嶺町・羽田が、「バランスのよい食生活をする事」では新井宿・鶉の木・六郷・嶺町・田園調布がそれぞれ全体より高くなっています。

図表5 取り組んだほうがよいこと



図表6 取り組んだほうがよいこと（日常生活圏域別）

(%)

	体操や運動をすること	食事、睡眠など、規則正しい生活を送ること	バランスのよい食生活をする	歯と口を清潔に保ち、かむ力を維持すること	定期的健康診査を受けること	認知症にならないよう脳トレをすること	適正な体重を維持すること	趣味や好きなことを探し、続けること	近所づきあいをする	タバコを吸わないこと（禁煙・減煙・分煙）	けること（休肝日を設けるなど）	お酒の飲み方に気を付	地域活動やボランティアに参加すること	特にな	無回答
全体	65.9	56.2	48.4	46.9	36.7	34.6	32.3	27.8	15.4	12.3	9.7	4.0	5.0	4.7	
日常生活圏域別	大森東	62.8	54.7	48.8	54.7	29.1	34.9	25.6	16.3	10.5	9.3	2.3	3.5	5.8	
	大森西	68.4	55.8	51.6	53.7	42.1	34.7	27.4	25.3	14.7	9.5	8.4	1.1	3.2	
	入新井	59.8	54.0	40.2	37.9	34.5	24.1	25.3	25.3	11.5	4.6	3.4	3.4	11.5	9.2
	馬込	66.3	54.7	36.0	38.4	32.6	30.2	31.4	22.1	14.0	14.0	10.5	3.5	5.8	9.3
	池上	71.7	46.7	37.0	46.7	31.5	33.7	27.2	30.4	16.3	12.0	8.7	4.3	4.3	4.3
	新井宿	71.4	60.4	58.2	44.0	45.1	44.0	35.2	26.4	18.7	8.8	5.5	5.5	2.2	6.6
	嶺町	67.4	62.8	55.8	44.2	37.2	30.2	30.2	33.7	18.6	12.8	14.0	5.8	4.7	3.5
	田園調布	66.3	54.7	53.5	46.5	29.1	31.4	34.9	32.6	12.8	10.5	9.3	7.0	1.2	5.8
	鶉の木	62.4	55.4	57.4	48.5	47.5	32.7	31.7	30.7	11.9	11.9	9.9	3.0	4.0	3.0
	久が原	61.5	53.8	51.6	56.0	38.5	39.6	30.8	28.6	19.8	17.6	17.6	5.5	5.5	6.6
	雪谷	61.0	63.4	45.1	48.8	29.3	36.6	31.7	30.5	13.4	14.6	9.8	3.7	6.1	2.4
	千束	60.7	65.5	47.6	57.1	33.3	35.7	34.5	34.5	13.1	11.9	8.3	9.5	4.8	4.8
	糀谷	58.0	53.1	48.1	39.5	37.0	29.6	28.4	28.4	4.9	12.3	6.2	1.2	6.2	8.6
	羽田	59.2	61.2	46.9	48.0	35.7	33.7	34.7	30.6	18.4	9.2	7.1	5.1	6.1	5.1
	六郷	80.6	59.1	57.0	46.2	45.2	40.9	41.9	28.0	20.4	20.4	18.3	6.5	2.2	2.2
	矢口	70.1	53.6	40.2	46.4	33.0	37.1	35.1	26.8	15.5	11.3	8.2	5.2	6.2	6.2
蒲田西	64.8	51.4	52.4	43.8	36.2	33.3	31.4	21.0	17.1	10.5	4.8	-	6.7	2.9	
蒲田東	57.7	55.8	47.1	45.2	33.7	36.5	33.7	29.8	16.3	11.5	11.5	5.8	10.6	1.9	

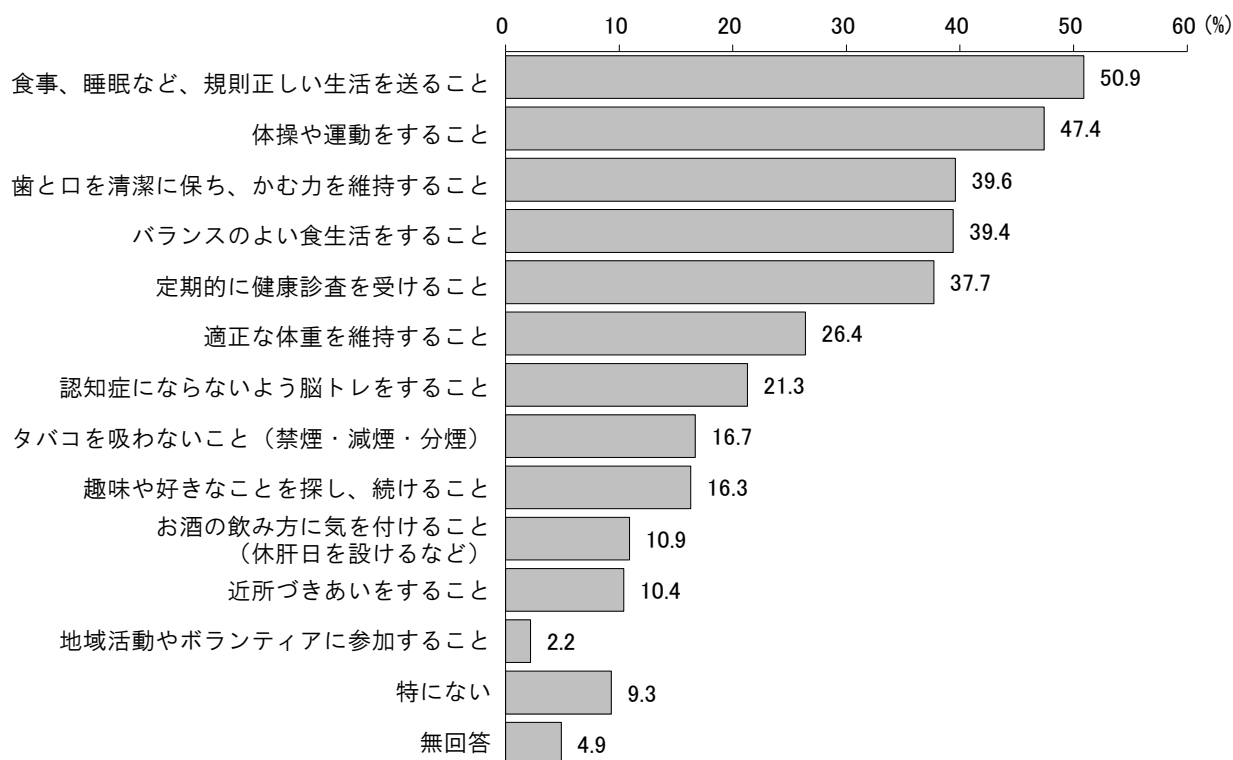
(4) 重度化防止のために今実践していること

問 15-2 あなたは、要介護度状態の維持・改善に向けて、今、実践していることはありますか。

②要介護認定者調査

- 要介護認定を受けている方で、充実した高齢期の生活を送るために今、実践していることは、「食事、睡眠など、規則正しい生活を送ること」が50.9%で最も高くなっています。次いで「体操や運動をすること」が47.4%、「歯と口を清潔に保ち、かむ力を維持すること」が39.6%、「バランスのよい食生活を送ること」が39.4%などとなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較で見ると、「食事、睡眠など、規則正しい生活を送ること」では久が原・新井宿・大森東・嶺町・六郷で全体より高くなっています。また「体操や運動をすること」では新井宿・矢口・六郷・千東で、「歯と口を清潔に保ち、かむ力を維持すること」では久が原・雪谷・大森東でそれぞれ全体より高くなっています。

図表7 実践していること



図表8 実践していること（日常生活圏域別）

(%)

	食事、睡眠など、規則正しい生活を送ること	体操や運動をすること	歯と口を清潔に保ち、かむ力を維持すること	バランスのよい食生活をすること	定期的に健康診査を受けること	適正な体重を維持すること	認知症にならないよう脳トレをすること	タバコを吸わないこと（禁煙・減煙・分煙）	趣味や好きなことを探し、続けること	けること（休肝日を設けるなど）	お酒の飲み方に気を付けること	近所づきあいをするこ	地域活動やボランティアに参加すること	特にな	無回答
全体	50.9	47.4	39.6	39.4	37.7	26.4	21.3	16.7	16.3	10.9	10.4	2.2	9.3	4.9	
日常生活圏域別	大森東	57.0	47.7	45.3	34.9	32.6	24.4	16.3	15.1	12.8	14.0	12.8	1.2	5.8	5.8
	大森西	44.2	46.3	43.2	44.2	40.0	17.9	18.9	13.7	14.7	6.3	12.6	1.1	10.5	3.2
	入新井	47.1	43.7	34.5	32.2	36.8	24.1	18.4	12.6	20.7	6.9	8.0	1.1	11.5	9.2
	馬込	54.7	46.5	31.4	39.5	30.2	26.7	17.4	17.4	12.8	11.6	10.5	3.5	11.6	11.6
	池上	50.0	50.0	38.0	29.3	39.1	25.0	14.1	12.0	17.4	9.8	8.7	2.2	6.5	5.4
	新井宿	57.1	61.5	44.0	44.0	38.5	34.1	29.7	12.1	17.6	6.6	13.2	3.3	4.4	6.6
	嶺町	57.0	41.9	31.4	47.7	34.9	26.7	18.6	19.8	20.9	10.5	3.5	-	11.6	3.5
	田園調布	47.7	45.3	41.9	37.2	30.2	38.4	24.4	17.4	19.8	8.1	7.0	3.5	3.5	7.0
	鶉の木	51.5	39.6	37.6	42.6	43.6	18.8	18.8	12.9	19.8	8.9	7.9	2.0	6.9	5.9
	久が原	58.2	50.5	48.4	41.8	42.9	33.0	27.5	20.9	25.3	16.5	12.1	2.2	7.7	5.5
	雪谷	50.0	48.8	46.3	42.7	37.8	31.7	22.0	20.7	14.6	12.2	9.8	1.2	6.1	3.7
	千束	52.4	52.4	44.0	52.4	42.9	34.5	27.4	17.9	28.6	15.5	13.1	4.8	6.0	3.6
	糀谷	50.6	44.4	37.0	40.7	37.0	23.5	18.5	14.8	8.6	7.4	6.2	1.2	11.1	3.7
	羽田	53.1	45.9	32.7	34.7	38.8	21.4	17.3	16.3	15.3	14.3	13.3	4.1	16.3	4.1
	六郷	55.9	52.7	40.9	37.6	41.9	29.0	24.7	25.8	17.2	17.2	16.1	2.2	9.7	3.2
	矢口	49.5	53.6	40.2	40.2	36.1	23.7	26.8	15.5	15.5	12.4	7.2	3.1	5.2	6.2
	蒲田西	42.9	42.9	34.3	36.2	34.3	28.6	23.8	13.3	10.5	5.7	8.6	-	11.4	3.8
蒲田東	51.0	40.4	44.2	36.5	35.6	26.9	22.1	18.3	15.4	12.5	9.6	4.8	13.5	1.9	

2 互助

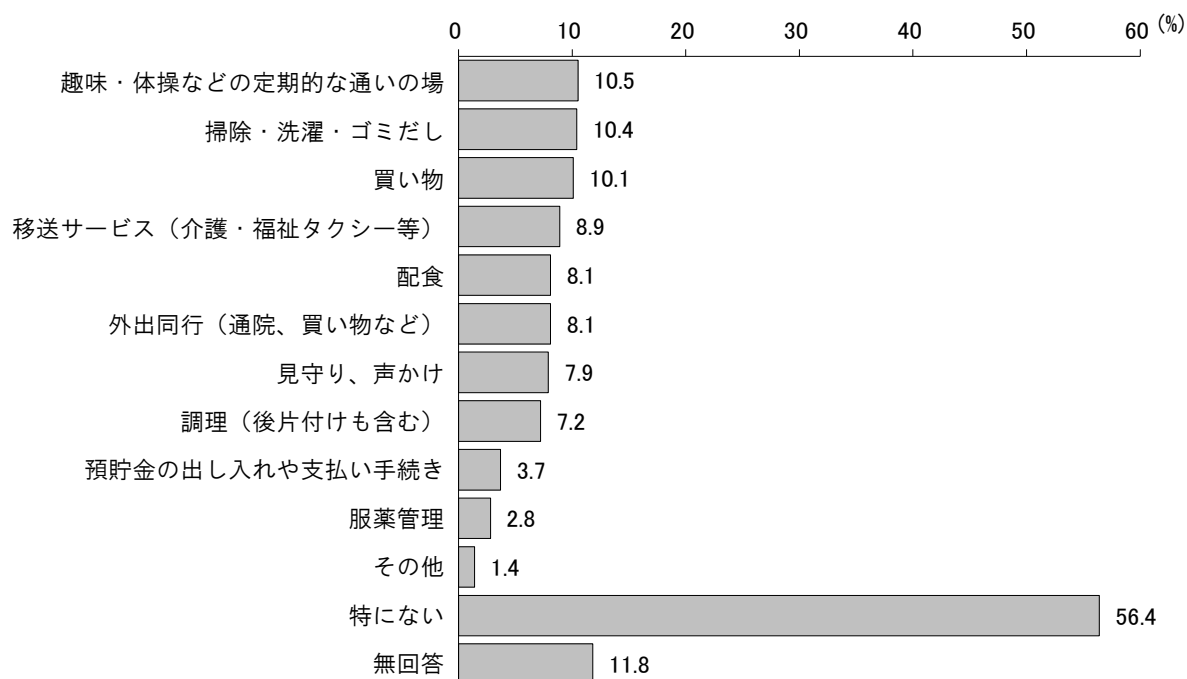
(1) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問 あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。

①高齢者一般調査（問6）

- 在宅生活の継続に必要なサービスは何かとたずねたところ、「特にない」（56.4%）が5割台半ばを占めました。必要とする支援・サービスとしては、「趣味・体操などの定期的な通いの場」が10.5%で最も高くなっています。次いで「掃除・洗濯・ゴミだし」が10.4%、「買い物」が10.1%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が8.9%などとなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、「掃除・洗濯・ゴミだし」では千束が全体より高くなっています。また「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」でも千束が全体より高くなっています。一方、「特にない」は糺谷・嶺町・大森西が全体より高くなっています。

図表9 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



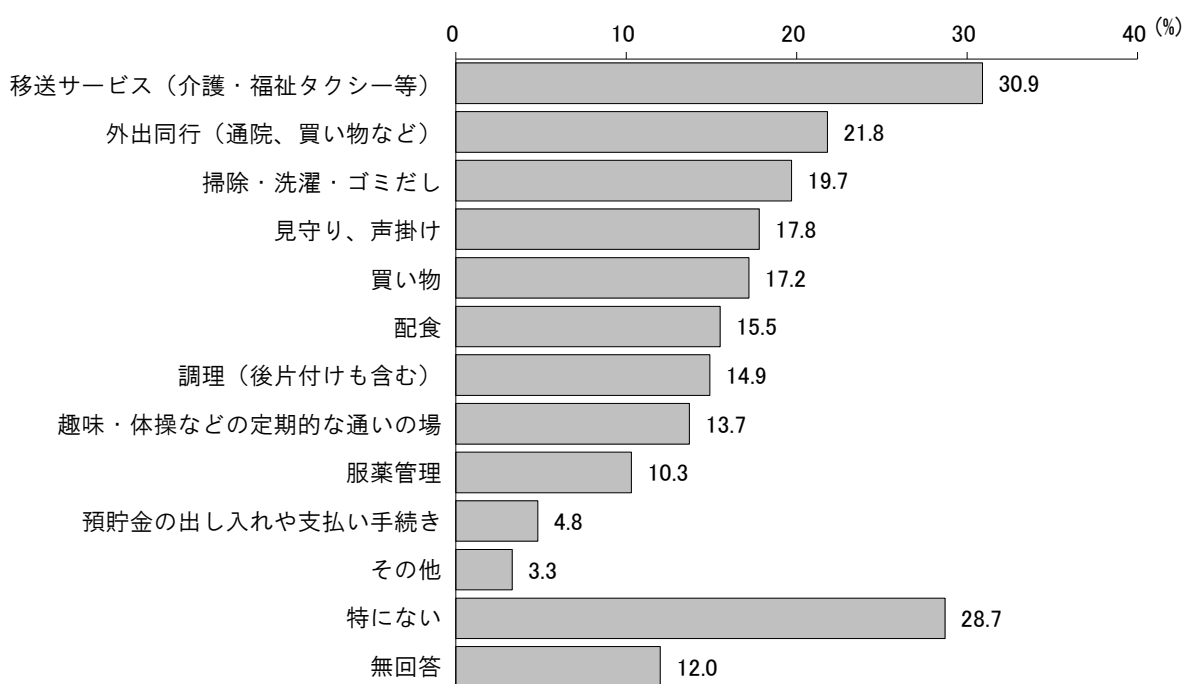
図表 10 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（日常生活圏域別）

		的趣 味な 通い の場 の定 期	掃 除・ 洗濯 ・ゴ ミだ し	買 い 物	福移 祉送 タク サー シー ス等 (介 護・ 等)	配 食	物外 出同 行(通 院、 買 い 等)	見 守り 、 声 か け	む調 理(後 片付 けも 含 む)	払預 い貯 手金の 出し 入れ や支 払	服 薬 管 理	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体		10.5	10.4	10.1	8.9	8.1	8.1	7.9	7.2	3.7	2.8	1.4	56.4	11.8
日 常 生 活 圏 域 別	大森東	9.1	12.1	11.7	4.8	6.9	9.1	4.3	5.6	5.2	2.2	0.4	54.5	18.6
	大森西	7.8	8.7	8.7	7.4	5.6	6.5	6.9	7.4	3.9	3.0	-	61.5	13.9
	入新井	10.4	9.0	8.6	6.8	6.3	5.0	6.3	7.2	0.9	4.1	1.8	59.7	13.1
	馬込	9.0	8.2	9.9	10.7	8.2	9.0	6.9	7.7	2.6	1.7	1.7	57.5	10.7
	池上	10.0	10.5	9.6	8.7	8.3	8.7	10.9	7.4	4.4	1.7	2.6	51.1	14.4
	新井宿	7.7	11.1	12.5	7.2	10.1	6.7	8.2	6.3	3.8	1.9	1.0	57.2	10.6
	嶺町	11.0	6.8	11.0	9.1	7.3	6.4	8.7	5.9	2.7	3.7	0.9	61.6	7.8
	田園調布	9.0	12.4	14.8	10.5	9.5	8.6	7.6	7.1	2.9	1.4	1.0	58.6	8.6
	鶉の木	14.2	15.1	10.0	12.8	11.0	9.6	12.3	8.2	6.4	6.4	0.9	57.1	9.1
	久が原	13.0	10.9	10.9	8.8	12.6	10.1	6.7	7.1	3.8	4.6	1.3	57.6	8.0
	雪谷	12.9	12.9	7.8	9.9	7.3	7.8	8.2	5.6	4.7	2.2	2.6	57.3	7.8
	千束	10.4	16.1	10.9	15.2	11.8	8.5	9.5	9.5	3.8	4.3	0.9	49.8	9.0
	糝谷	9.3	8.9	7.5	5.6	7.5	6.5	3.7	8.4	1.9	3.3	-	63.6	8.9
	羽田	7.9	8.8	10.1	9.3	10.1	7.0	9.3	5.3	1.8	1.3	1.8	55.1	13.7
	六郷	14.2	11.8	12.6	9.8	8.3	13.0	7.1	9.1	4.3	3.5	2.4	49.6	14.6
	矢口	10.3	12.8	11.9	13.6	9.5	8.2	11.1	9.9	6.6	3.3	2.9	53.5	9.9
蒲田西	12.4	6.9	8.3	6.5	3.7	5.1	6.5	4.6	3.2	2.3	0.5	55.8	14.7	
蒲田東	8.7	10.6	10.1	6.3	8.7	8.2	9.6	6.7	3.8	1.9	0.5	58.7	12.0	

②要介護認定者調査（問 18）

- 要介護認定を受けている方で、在宅生活の継続に必要な支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.9%で最も高くなっています。次いで「外出同行（通院、買い物など）」が21.8%、「掃除・洗濯・ゴミだし」が19.7%、「見守り、声掛け」が17.8%などとなっています。一方で、「特にない」（28.7%）が約3割となっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」では田園調布・千束・嶺町・羽田が全体より高くなっています。また「外出同行（通院、買い物など）」では千束・久が原が高く、「掃除・洗濯・ゴミだし」では田園調布・新井宿・千束・久が原が高くなっています。一方、「特にない」は蒲田東が全体より高くなっています。

図表 11 在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス



図表 12 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（日常生活圏域別）

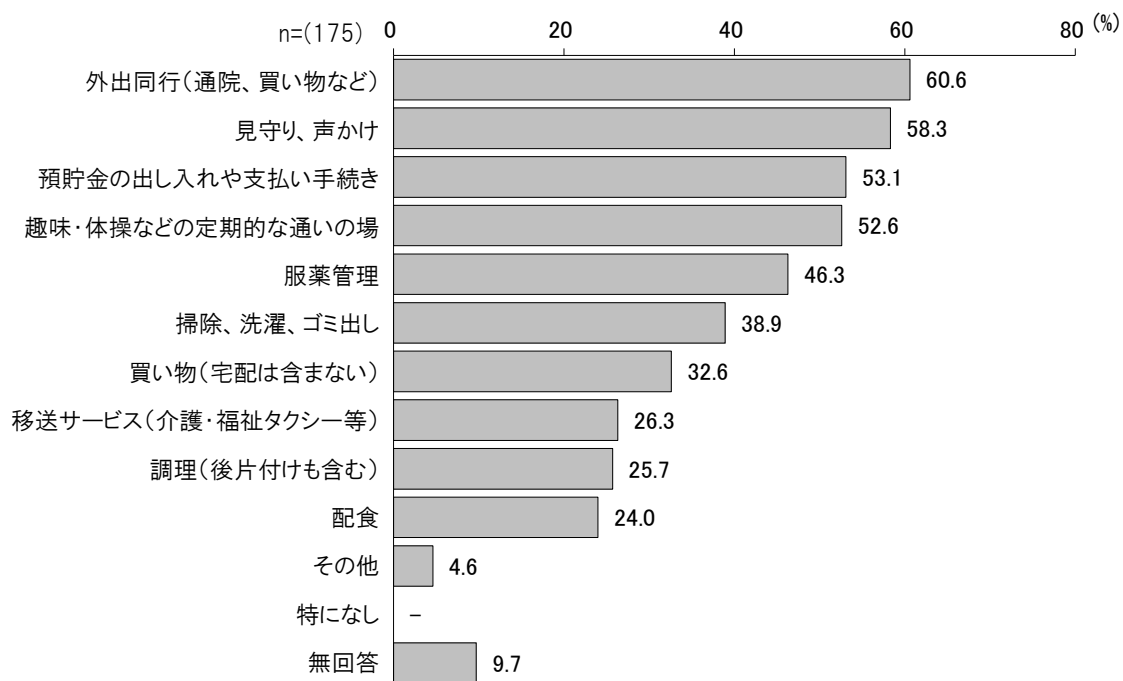
		福祉サービス（介護・移送サービス等）	外出同行（通院、買い物など）	掃除・洗濯・ゴミ出し	見守り、声掛け	買い物	配食	調理（後片付けも含む）	趣味・体操などの定期的な通いの場	服薬管理	預貯金の出し入れや支払い手続き	その他	特にない	無回答
全体		30.9	21.8	19.7	17.8	17.2	15.5	14.9	13.7	10.3	4.8	3.3	28.7	12.0
日常生活圏域別	大森東	30.2	18.6	18.6	19.8	23.3	11.6	20.9	14.0	14.0	4.7	1.2	26.7	10.5
	大森西	29.5	20.0	18.9	18.9	14.7	12.6	10.5	10.5	9.5	4.2	3.2	31.6	11.6
	入新井	28.7	25.3	18.4	13.8	14.9	13.8	17.2	13.8	3.4	3.4	4.6	21.8	12.6
	馬込	26.7	20.9	17.4	18.6	19.8	11.6	16.3	11.6	12.8	3.5	4.7	32.6	15.1
	池上	31.5	21.7	22.8	22.8	20.7	19.6	15.2	20.7	9.8	6.5	3.3	27.2	7.6
	新井宿	23.1	25.3	26.4	17.6	24.2	22.0	16.5	17.6	6.6	4.4	3.3	27.5	14.3
	嶺町	39.5	18.6	17.4	15.1	16.3	18.6	17.4	12.8	10.5	7.0	2.3	30.2	8.1
	田園調布	41.9	24.4	29.1	19.8	20.9	24.4	15.1	18.6	11.6	5.8	-	19.8	12.8
	鶯の木	28.7	19.8	19.8	15.8	15.8	13.9	20.8	11.9	12.9	5.9	5.0	32.7	11.9
	久が原	30.8	27.5	25.3	22.0	20.9	14.3	22.0	19.8	11.0	8.8	2.2	33.0	11.0
	雪谷	28.0	19.5	17.1	13.4	19.5	18.3	18.3	15.9	12.2	7.3	3.7	30.5	12.2
	千束	41.7	38.1	26.2	19.0	20.2	19.0	10.7	22.6	15.5	7.1	4.8	14.3	11.9
	糝谷	30.9	21.0	18.5	13.6	12.3	17.3	11.1	8.6	14.8	3.7	-	27.2	13.6
	羽田	37.8	21.4	19.4	21.4	14.3	14.3	16.3	15.3	11.2	4.1	5.1	28.6	12.2
	六郷	32.3	18.3	21.5	20.4	23.7	16.1	14.0	9.7	7.5	2.2	4.3	29.0	14.0
矢口	23.7	22.7	18.6	18.6	13.4	12.4	11.3	15.5	11.3	5.2	3.1	30.9	13.4	
蒲田西	30.5	22.9	15.2	9.5	9.5	14.3	12.4	11.4	7.6	2.9	3.8	26.7	10.5	
蒲田東	28.8	17.3	15.4	21.2	13.5	13.5	14.4	8.7	7.7	4.8	1.9	35.6	12.5	

問 在宅生活の継続のために、さらに充実が必要と感じる支援・サービス等についてご回答ください。

④介護サービス事業者調査（問 22）

■ 介護サービス事業者が、在宅生活の継続のためにさらに充実が必要と感じる支援・サービスは、「外出同行（通院、買い物など）」が 60.6%で最も高くなっています。次いで、「見守り、声かけ」が 58.3%、「預貯金の出し入れや支払い手続き」が 53.1%、「趣味・体操などの定期的な通いの場」が 52.6%、「服薬管理」が 46.3%などとなっています。

図表 13 在宅生活継続のためにさらに充実が必要と感じる支援・サービス



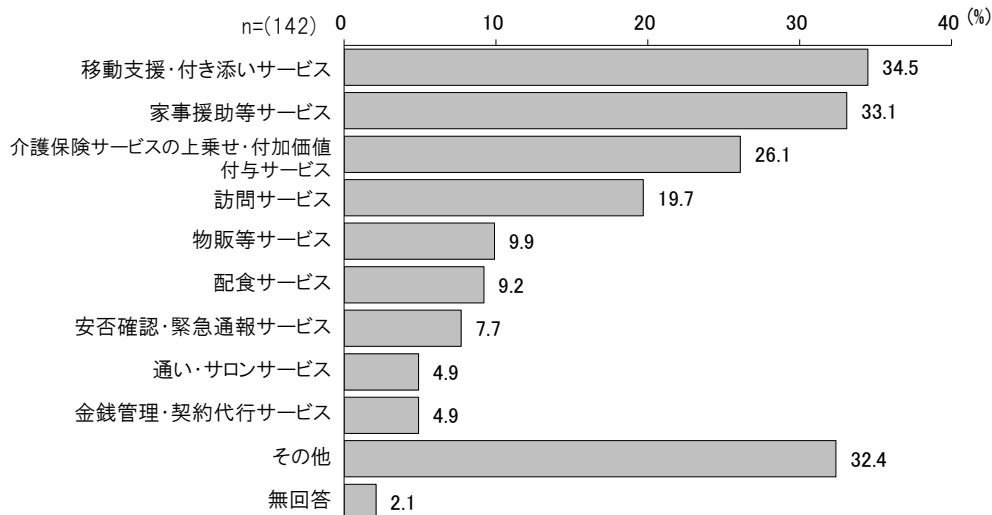
(2) 介護保険外サービスの実施状況

問 介護保険制度によらないで提供しているサービスは何ですか。

④介護サービス事業者調査（問3-1）

- 介護保険の被保険者に対して提供している介護保険制度によらないサービスは、「移動支援・付き添いサービス」が34.5%で最も高くなっています。次いで、「家事援助等サービス」が33.1%、「介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス」が26.1%、「訪問サービス」が19.7%などとなっています。また、「その他」（32.4%）の内容として、「宿泊（食事を伴う）サービス」「理美容サービス」等が挙げられています。
- 事業者のサービス区別にみると、「移動支援・付き添いサービス」は居住系サービス（55.6%）と訪問系サービス（44.4%）が高く、「家事援助等サービス」は訪問系サービス（59.7%）、「介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス」は居住系サービス（40.7%）がそれぞれ高くなっています。

図表 14 事業者が提供している介護保険サービスによらないサービス



図表 15 事業者が提供している介護保険サービスによらないサービス（サービス区別）

		n (回答者数)	移動支援・付き添いサービス	家事援助等サービス	介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス	訪問サービス	物販等サービス	配食サービス	安否確認・緊急通報サービス	通い・サロンサービス	金銭管理・契約代行サービス	その他	無回答
全体		142	34.5	33.1	26.1	19.7	9.9	9.2	7.7	4.9	4.9	32.4	2.1
サービス区別	訪問系サービス	72	44.4	59.7	30.6	36.1	4.2	4.2	8.3	2.8	1.4	23.6	1.4
	通所系・短期系サービス	38	5.3	2.6	7.9	-	13.2	15.8	-	5.3	2.6	65.8	2.6
	居住系サービス	27	55.6	11.1	40.7	7.4	18.5	7.4	18.5	7.4	11.1	11.1	-
	施設サービス	4	-	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	25.0

3 地域のつながり

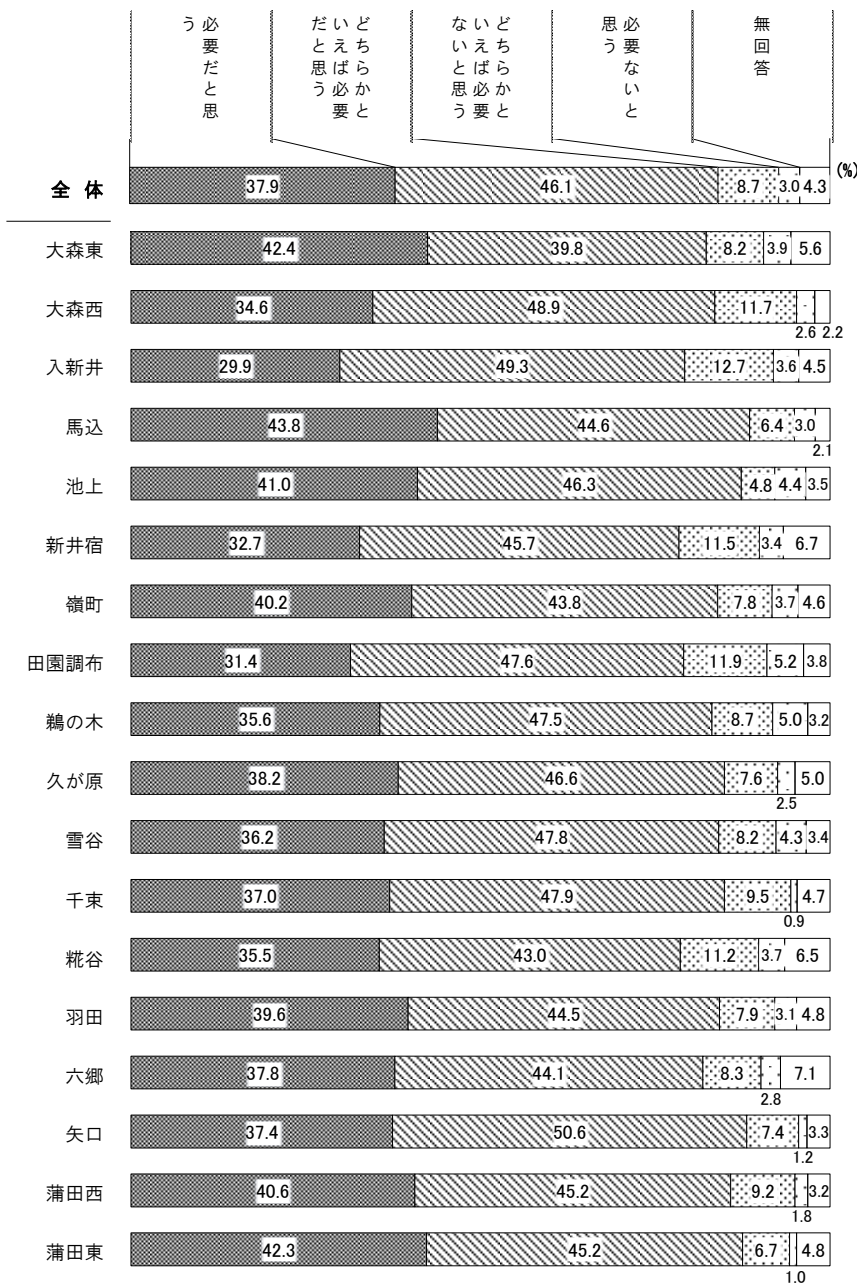
(1) 地域のつながりの必要性について

問 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）の必要性についてどのように感じていますか。

①高齢者一般調査（問 19）

- 地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）の必要性については、「どちらかといえば必要だと思う」が46.1%で最も高く、「必要だと思う」（37.9%）を合わせた《必要性を感じる》が84.0%を占めています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、《必要性を感じる》は馬込・矢口で全体より高くなっています。

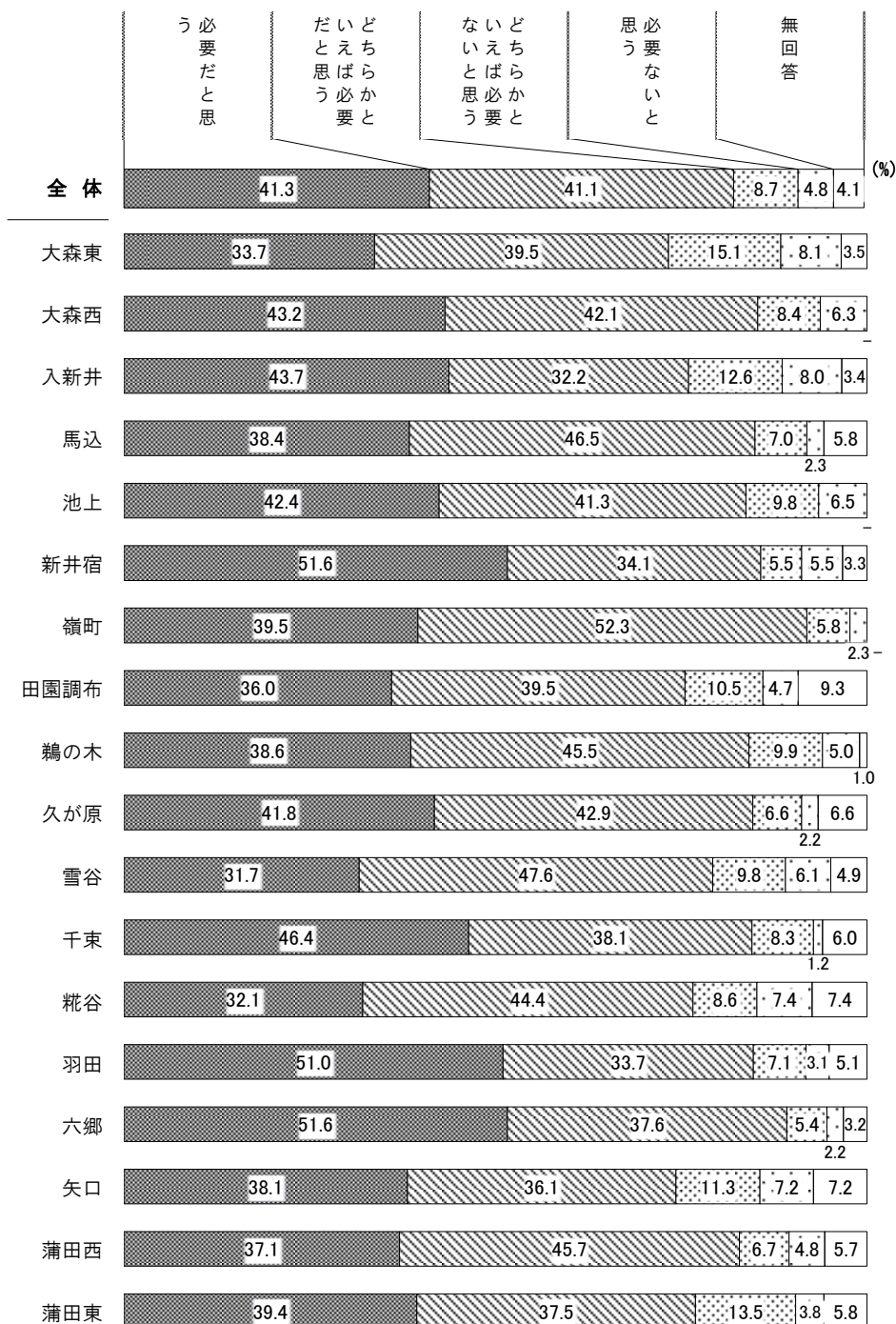
図表 16 地域のつながりの必要性



②要介護認定者調査（問9）

- 要介護認定を受けている方で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）の必要性については、「必要だと思う」が41.3%で最も高く、「どちらかといえば必要だと思う」（41.1%）を合わせた《必要性を感じる》が82.4%を占めています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、《必要性を感じる》は嶺町・六郷で全体より以上高くなっています。

図表 17 地域のつながりの必要性



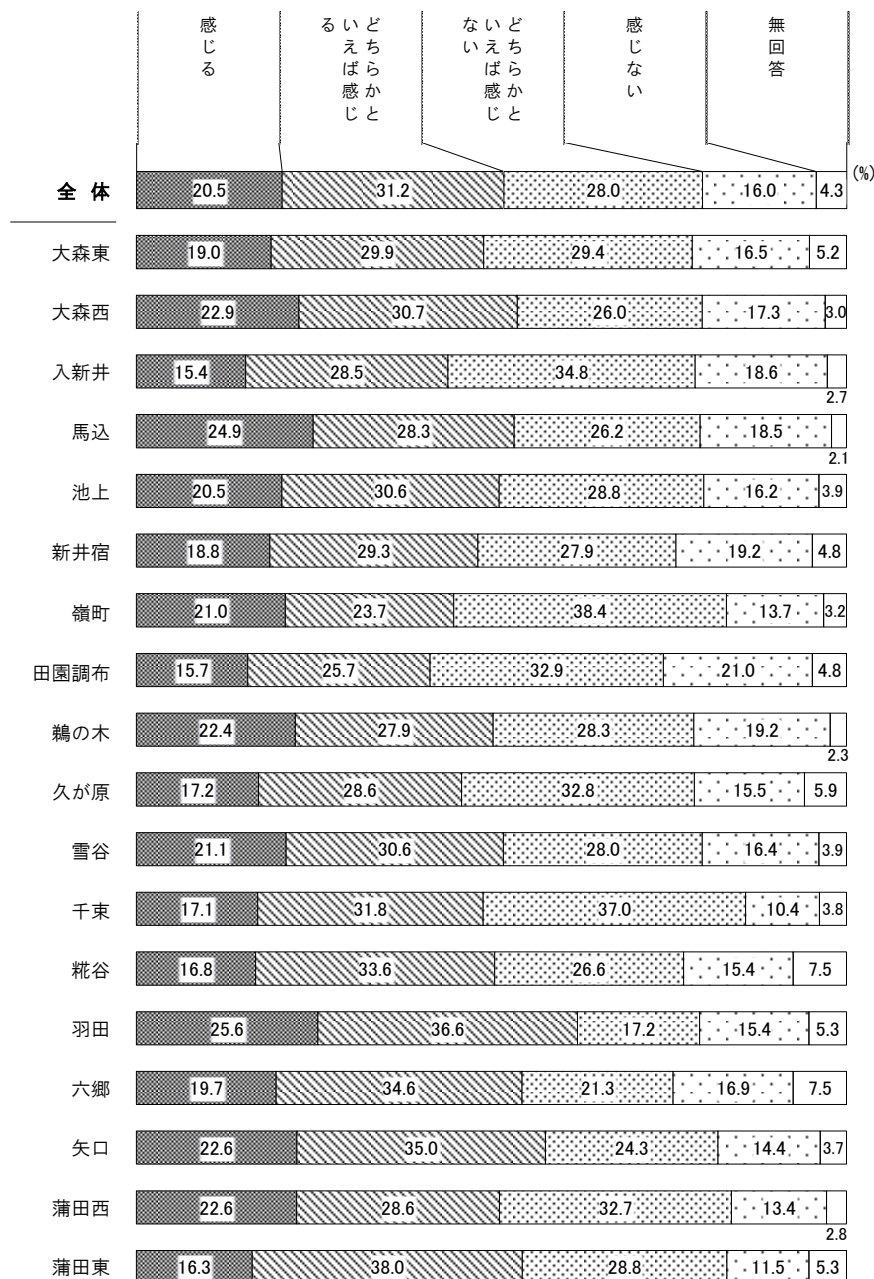
(2) 地域のつながりを実際に感じる程度について

問 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）を実際に感じることはありますか。

①高齢者一般調査（問 20）

- 地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）の実感については、「どちらかといえば感じる」が31.2%で最も高く、「感じる」（20.5%）を合わせた《感じる》が51.7%となり、「どちらかといえば感じない」（28.0%）と「感じない」（16.0%）を合わせた《感じない》（44.0%）より高くなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、《感じる》は羽田・矢口で全体より高くなっています。

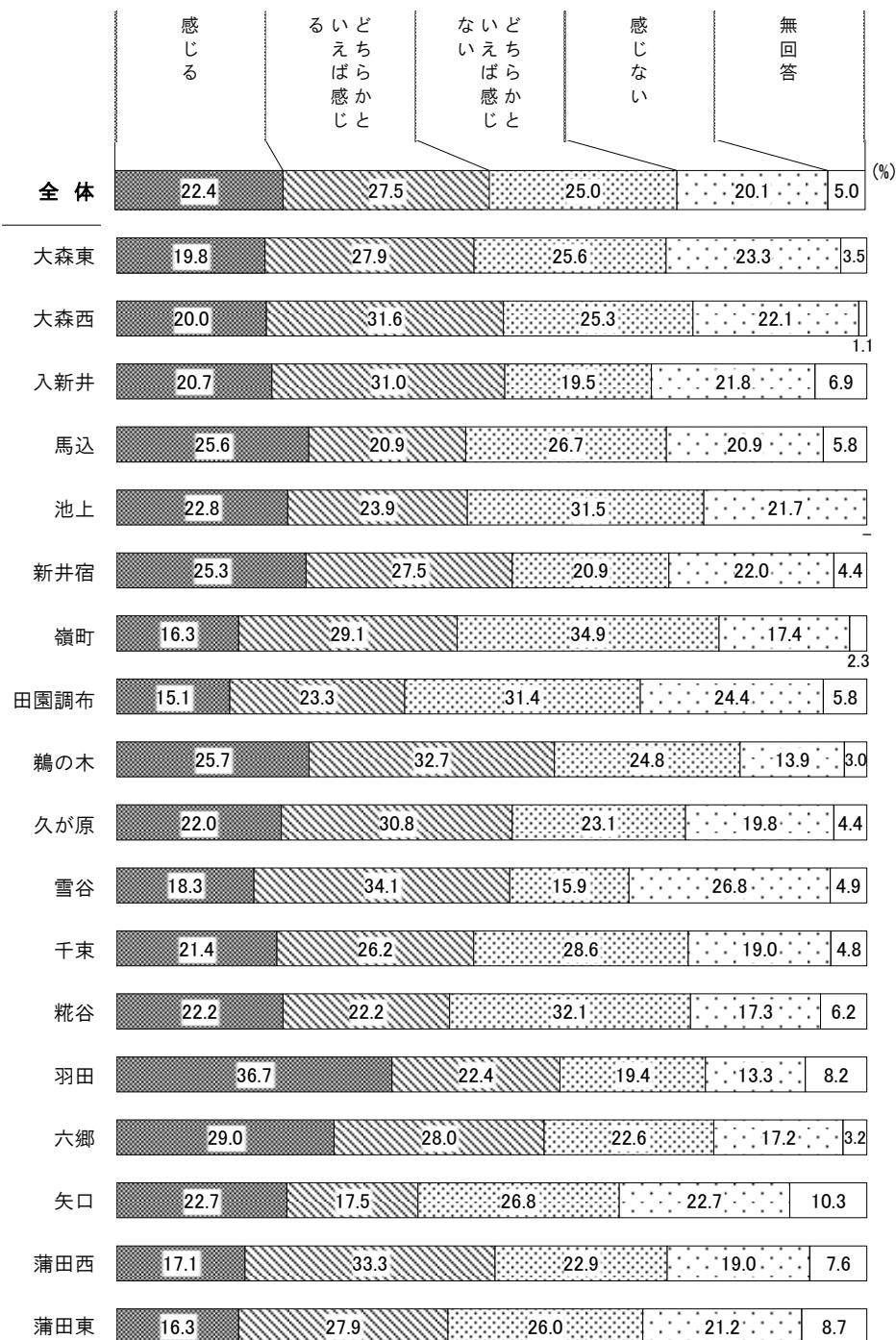
図表 18 地域のつながりを実際に感じる程度



②要介護認定者調査（問 10）

- 要介護認定を受けている方で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）の実感については、「どちらかといえば感じる」が27.5%で最も高く、「感じる」(22.4%)を合わせた《感じる》が49.9%となり、「どちらかといえば感じない」(25.0%)と「感じない」(20.1%)を合わせた《感じない》(45.1%)より高くなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、《感じる》は鶉の木・六郷で全体より高くなっています。

図表 19 地域のつながりを実際に感じる程度（日常生活圏域別）



第2号被保険者調査

③ 第2号被保険者調査 (問15、16)

- 第2号被保険者の方で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）の必要性については、「どちらかといえば必要だと思う」が最も高く（53.3%）、「必要だと思う」（36.9%）を合わせた《必要性を感じる》が90.2%を占めています。
地域のつながりの必要性を感じる割合は、第2号被保険者の方が高くなっています。

- また、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）の実感については、「どちらかといえば感じない」が最も高く（38.5%）、「感じない」（19.5%）を合わせた《感じない》が58.4%となり、半数が感じていないという結果でした。

4 今後の意向

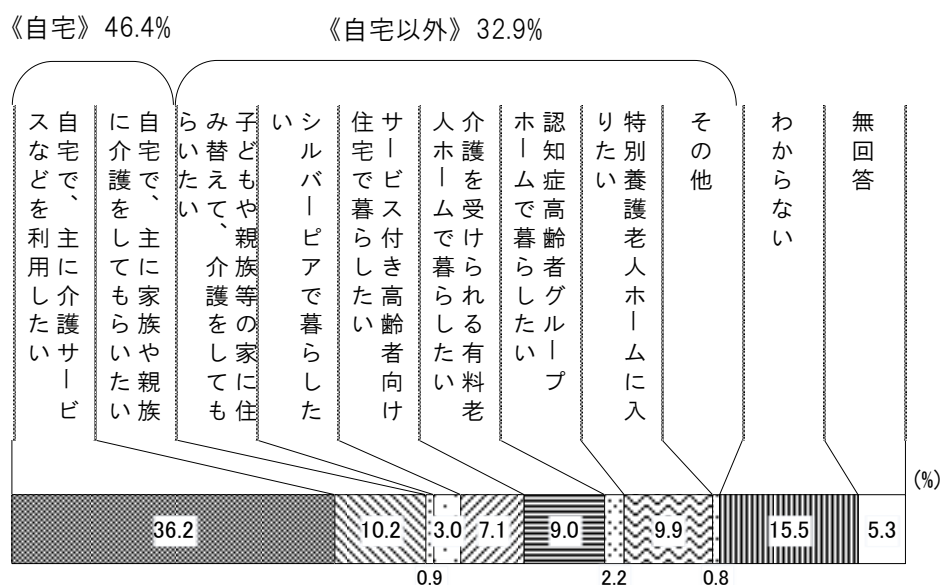
(1) 介護が必要になった場合の暮らし方

問 あなたは、万が一介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。

①高齢者一般調査（問 28）

- 介護が必要になった場合に希望する暮らし方は、「自宅で、主に介護サービスなどを利用したい」が 36.2%で最も高く、次いで「わからない」が 15.5%、「自宅で、主に家族や親族に介護をしてもらいたい」が 10.2%、「特別養護老人ホームに入りたい」が 9.9%、「介護を受けられる有料老人ホームで暮らしたい」が 9.0%などとなっています。また、『自宅』^{※1}が 46.4%で、『自宅以外』^{※2}（32.9%）より高くなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、『自宅』は羽田・久が原・田園調布で全体より高くなっています。

図表 20 介護が必要になった場合の希望する暮らし方



『自宅』=「自宅で、主に介護サービスなどを利用したい」+「自宅で、主に家族や親族に介護をもらいたい」
 『自宅以外』=「子どもや親族等の家に住み替えて、介護をもらいたい」から「その他」までの合計

図表 21 介護が必要になった場合の希望する暮らし方（日常生活圏域別）

		(%)												
		自宅 で、主 に介 護サ ービ スな どを 利用 した い	自宅 で、主 に家 族や 親族 に介 護を して もら いた い	子 ども や親 族等 の家 に住 み替 え、 介 護を して もら いた い	シル バー ピア で暮 らした い	サー ビス 付き 高齢 者向 け住 宅で 暮ら した い	介 護を 受け られ る有 料老 人ホ ーム で暮 らした い	認 知症 高齢 者グ ループ ホーム で暮 らした い	特 別養 護老 人ホ ームに 入り たい	そ の他	わ か ら な い	無 回 答	『自 宅』	『自 宅以 外』
全体		36.2	10.2	0.9	3.0	7.1	9.0	2.2	9.9	0.8	15.5	5.3	46.4	32.9
日常生活圏域別	大森東	35.1	7.8	1.3	7.8	6.1	5.2	3.0	10.4	0.4	17.3	5.6	42.9	34.2
	大森西	30.3	11.3	2.2	1.7	6.1	8.7	3.5	12.6	0.9	16.9	6.1	41.6	35.7
	入新井	40.3	8.1	0.9	3.2	5.9	10.4	1.8	6.8	0.9	15.4	6.3	48.4	29.9
	馬込	40.8	7.7	0.4	3.9	3.9	10.7	2.1	9.0	0.4	15.9	5.2	48.5	30.4
	池上	35.8	7.4	0.9	2.6	10.9	7.4	2.2	10.5	1.3	16.6	4.4	43.2	35.8
	新井宿	33.2	11.1	0.5	5.3	10.1	8.7	1.9	6.3	0.5	15.9	6.7	44.3	33.3
	嶺町	40.2	9.1	1.4	2.7	9.6	11.0	2.3	5.9	0.5	13.7	3.7	49.3	33.4
	田園調布	41.9	10.5	-	-	6.2	12.9	1.0	6.2	0.5	15.2	5.7	52.4	26.8
	鵜の木	41.1	6.4	1.4	2.3	6.4	7.3	2.7	11.9	1.4	15.5	3.7	47.5	33.4
	久が原	40.8	12.2	-	1.3	8.0	7.1	1.7	13.0	1.3	10.9	3.8	53.0	32.4
	雪谷	37.5	11.2	1.3	3.4	8.6	7.8	2.2	10.8	1.7	12.5	3.0	48.7	35.8
	千束	39.8	9.0	0.9	0.9	9.5	11.8	1.9	9.5	0.9	12.3	3.3	48.8	35.4
	糺谷	27.1	13.6	-	5.1	7.9	8.9	3.3	7.9	0.5	18.2	7.5	40.7	33.6
	羽田	40.1	13.7	0.4	2.2	4.0	4.8	0.4	12.8	0.9	16.7	4.0	53.8	25.5
	六郷	35.4	11.0	1.6	3.1	7.9	8.3	2.8	9.8	0.8	13.4	5.9	46.4	34.3
	矢口	37.9	7.8	0.4	1.6	7.4	9.5	1.2	11.9	1.2	15.6	5.3	45.7	33.2
蒲田西	31.3	11.5	0.5	3.2	6.5	11.5	0.9	8.8	0.5	18.4	6.9	42.8	31.9	
蒲田東	35.1	10.1	0.5	4.8	4.8	9.6	3.4	10.1	0.5	15.4	5.8	45.2	33.7	

※1 『自宅』 = 「自宅で、主に介護サービスなどを利用したい」 + 「自宅で、主に家族や親族に介護をしてもらいたい」
 ※2 『自宅以外』 = 「子どもや親族等の家に住み替えて、介護をしてもらいたい」から「その他」までの合計

第2号被保険者調査

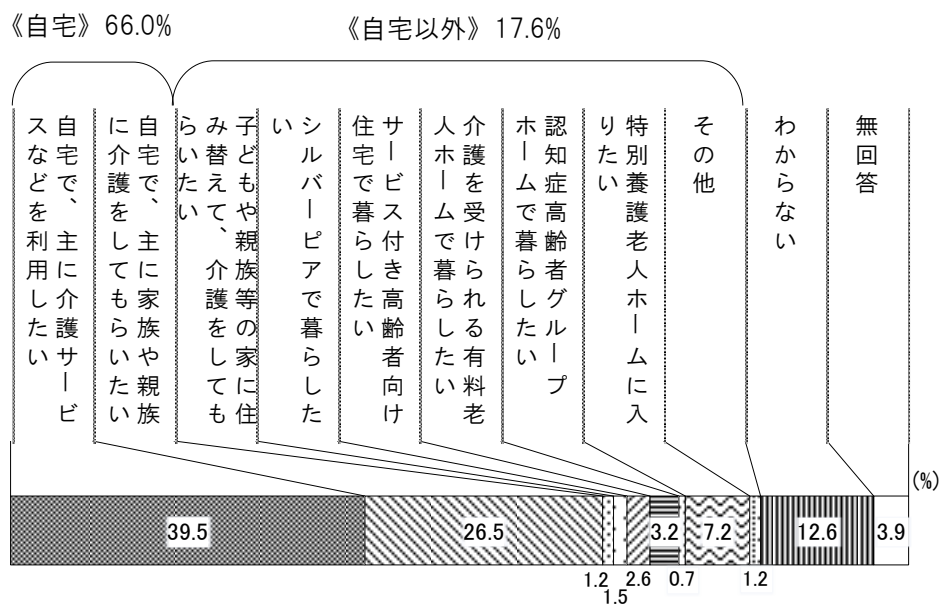
③ 第2号被保険者調査（問27）

- 第2号被保険者の方で、万が一介護が必要になった場合に希望する暮らし方は、「自宅で、主に介護サービスなどを利用したい」が最も高く（30.7%）、次いで「わからない」が17.5%、「サービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい」が13.0%、「介護を受けられる有料老人ホームで暮らしたい」が12.0%、などとなっています。
- また、『自宅』※1が36.5%で、『自宅以外』※2（44.1%）となっており、この世代では『自宅以外』が高くなっています。

②要介護認定者調査（問 26）

- 要介護認定を受けている方で、今後希望する暮らし方は、「自宅で、主に介護サービスなどを利用したい」が 39.5%で最も高く、次いで「自宅で、主に家族や親族に介護をしてもらいたい」が 26.5%、「わからない」が 12.6%、「特別養護老人ホームに入りたい」が 7.2% などとなっています。また、『自宅』*1が 66.0%を占めており、『自宅以外』*2は 17.6%となっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、『自宅』は馬込・嶺町・蒲田東・田園調布で全体より高く、『自宅以外』は羽田で全体より高くなっています。

図表 22 今後希望する暮らし方



『自宅』=「自宅で、主に介護サービスなどを利用したい」+「自宅で、主に家族や親族に介護をしてもらいたい」

『自宅以外』=「子どもや親族等の家に住み替えて、介護をしてもらいたい」から「その他」までの合計

図表 23 今後希望する暮らし方（日常生活圏域別）

		(%)												
		自宅 で、主 に介 護サ ービ スな どを 利用 した い	自宅 で、 主に 家族 や親 族に 介 護を して もら いた い	子 ども や親 族等 の 家 に 住 み 替 え て、 介 護 を し て もら いた い	シ ル バ ー ピ ア で 暮 ら し た い	サ ー ビ ス 付 き 高 齢 者 向 け 住 宅 で 暮 ら し た い	介 護 を 受 け ら れ る 有 料 老 人 ホ ー ム で 暮 ら し た い	認 知 症 高 齢 者 グ ル ー プ ホ ー ム で 暮 ら し た い	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム に 入 り た い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	『 自 宅 』	『 自 宅 以 外 』
全 体		39.5	26.5	1.2	1.5	2.6	3.2	0.7	7.2	1.2	12.6	3.9	66.0	17.6
日 常 生 活 圏 域 別	大森東	36.0	30.2	-	5.8	-	4.7	1.2	7.0	-	11.6	3.5	66.2	18.7
	大森西	40.0	26.3	2.1	2.1	2.1	1.1	-	8.4	2.1	14.7	1.1	66.3	17.9
	入新井	48.3	19.5	-	2.3	2.3	3.4	2.3	3.4	-	13.8	4.6	67.8	13.7
	馬込	53.5	19.8	1.2	3.5	2.3	1.2	1.2	8.1	1.2	5.8	2.3	73.3	18.7
	池上	43.5	23.9	-	-	3.3	3.3	-	4.3	2.2	18.5	1.1	67.4	13.1
	新井宿	39.6	27.5	-	1.1	4.4	7.7	-	5.5	-	7.7	6.6	67.1	18.7
	嶺町	43.0	30.2	-	-	1.2	2.3	-	11.6	-	8.1	3.5	73.2	15.1
	田園調布	44.2	27.9	-	-	1.2	1.2	1.2	8.1	2.3	12.8	1.2	72.1	14.0
	鶉の木	35.6	26.7	-	1.0	5.0	2.0	1.0	7.9	1.0	15.8	4.0	62.3	17.9
	久が原	41.8	20.9	1.1	2.2	2.2	3.3	1.1	6.6	-	18.7	2.2	62.7	16.5
	雪谷	47.6	20.7	-	-	3.7	3.7	1.2	8.5	-	11.0	3.7	68.3	17.1
	千束	44.0	25.0	1.2	-	2.4	4.8	1.2	6.0	-	11.9	3.6	69.0	15.6
	糀谷	30.9	37.0	2.5	-	1.2	3.7	1.2	9.9	-	7.4	6.2	67.9	18.5
	羽田	27.6	31.6	3.1	4.1	2.0	1.0	-	11.2	3.1	11.2	5.1	59.2	24.5
	六郷	34.4	24.7	2.2	-	2.2	3.2	1.1	6.5	2.2	19.4	4.3	59.1	17.4
	矢口	40.2	28.9	-	-	2.1	5.2	1.0	6.2	1.0	11.3	4.1	69.1	15.5
蒲田西	32.4	25.7	1.0	1.0	3.8	6.7	-	6.7	2.9	12.4	7.6	58.1	22.1	
蒲田東	38.5	33.7	2.9	4.8	3.8	1.9	1.0	2.9	-	5.8	4.8	72.2	17.3	

※1 『自宅』＝「自宅で、主に介護サービスなどを利用したい」＋「自宅で、主に家族や親族に介護をもらいたい」

※2 『自宅以外』＝「子どもや親族等の家に住み替えて、介護をもらいたい」から「その他」までの合計

5 認知症

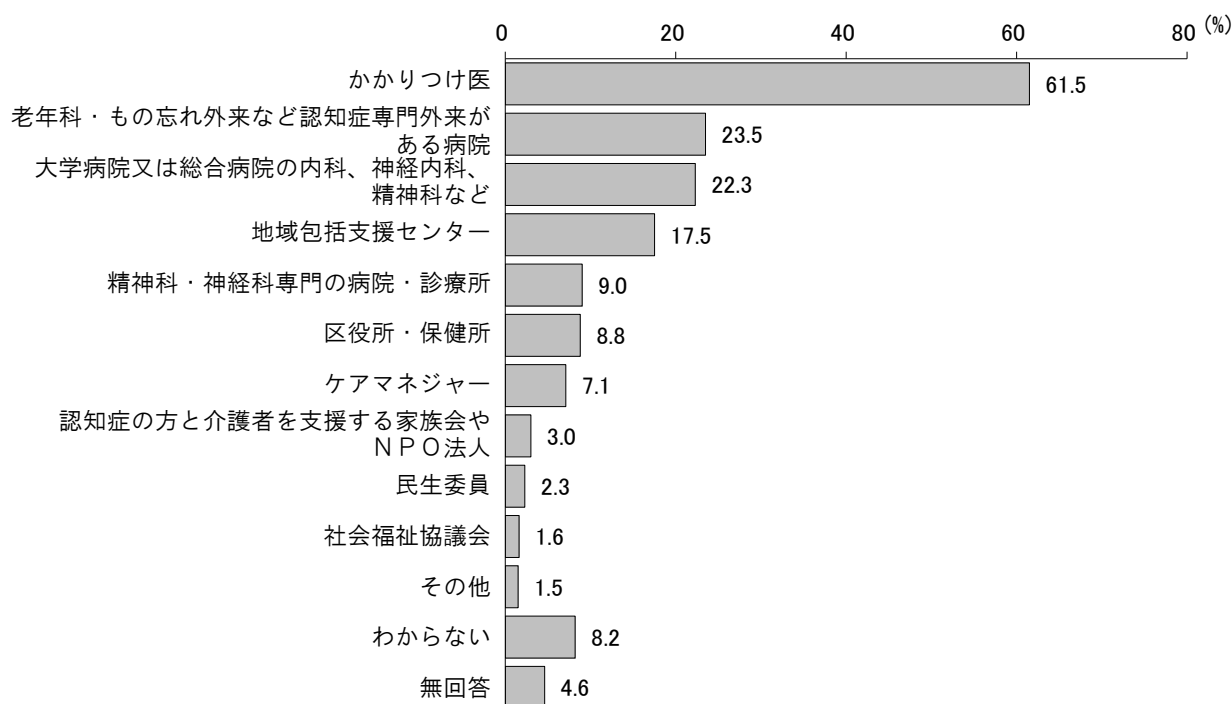
(1) 認知症の心配が出てきたときの相談先

問 あなたは、自分自身や家族等に認知症の心配が出てきたとき、どこに（誰に）相談しようと思いますか。

①高齢者一般調査（問 24-3）

- 認知症の心配が出てきたときの相談先は、「かかりつけ医」が 61.5%で最も高く、次いで「老年科・もの忘れ外来など認知症専門外来がある病院」が 23.5%、「大学病院又は総合病院の内科、神経内科、精神科など」が 22.3%、「地域包括支援センター」が 17.5%などとなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、「かかりつけ医」は鵜の木・千束で全体より高く、「老年科・もの忘れ外来など認知症専門外来がある病院」は雪谷・嶺町・久が原で全体より高くなっています。

図表 24 認知症の心配が出てきたときの相談先



図表 25 認知症の心配が出てきたときの相談先（日常生活圏域別）

		(%)												
		かかりつけ医	老年科・もの忘れ外来がある病院	大学病院又は総合病院の内科、神経内科、精神科など	地域包括支援センター	診療所・精神科・神経科専門の病院	区役所・保健所	ケアマネジャー	認知症の方と介護者を支援する家族会やNPO法人	民生委員	社会福祉協議会	その他	わからない	無回答
全体		61.5	23.5	22.3	17.5	9.0	8.8	7.1	3.0	2.3	1.6	1.5	8.2	4.6
日常生活圏域別	大森東	59.3	21.6	18.6	14.7	10.8	4.8	7.8	3.5	0.4	1.3	1.3	7.4	6.9
	大森西	63.2	21.2	23.4	18.2	9.1	8.7	5.2	1.7	3.5	0.9	-	10.0	5.6
	入新井	56.1	24.0	24.9	15.8	11.8	5.4	5.9	3.2	1.8	0.9	0.5	7.7	6.8
	馬込	63.1	27.0	24.9	16.7	8.6	10.7	4.7	1.3	0.9	0.4	1.7	6.9	3.9
	池上	59.4	21.4	21.4	16.2	9.6	10.0	10.5	4.4	3.5	4.4	1.7	10.5	3.9
	新井宿	61.5	25.5	21.2	18.8	7.7	4.8	3.8	2.9	4.3	1.0	1.9	7.2	7.7
	嶺町	65.8	29.7	28.8	23.7	5.5	9.1	11.0	2.7	1.4	1.4	0.5	6.8	2.3
	田園調布	56.7	26.2	23.8	22.9	4.8	10.0	12.9	2.4	1.9	0.5	1.4	8.6	5.2
	鶴の木	67.6	25.1	20.5	16.9	11.0	5.5	7.8	3.2	3	-	0.9	11.4	3.7
	久が原	63.0	29.4	30.3	18.1	16.8	14.3	8.4	4.2	1.7	1.7	0.8	5.9	2.1
	雪谷	60.8	32.8	23.3	15.5	8.2	8.6	7.8	4.3	4.3	0.4	3.9	4.3	3.4
	千束	66.4	27.5	25.1	20.9	7.6	8.1	6.2	4.7	1.9	2.4	2.4	7.1	3.3
	糝谷	63.6	22.0	18.7	21.0	5.1	7.9	6.1	2.8	2.3	3.7	-	7.5	7.0
	羽田	64.3	22.0	19.8	17.6	9.3	8.4	5.3	3.1	3.5	0.9	1.3	10.1	2.2
	六郷	63.0	17.7	20.1	18.1	8.7	10.2	5.5	3.1	1.6	2.4	3.1	9.1	3.9
	矢口	64.6	24.7	22.2	14.4	12.3	11.9	8.6	2.1	1.6	0.8	1.6	4.9	5.3
蒲田西	57.6	19.8	19.8	14.3	8.3	8.3	8.3	3.7	1.4	1.8	0.5	10.1	5.5	
蒲田東	53.8	18.3	20.2	17.3	7.2	7.2	6.7	1.4	1.9	2.4	1.9	10.1	4.3	

第2号被保険者調査

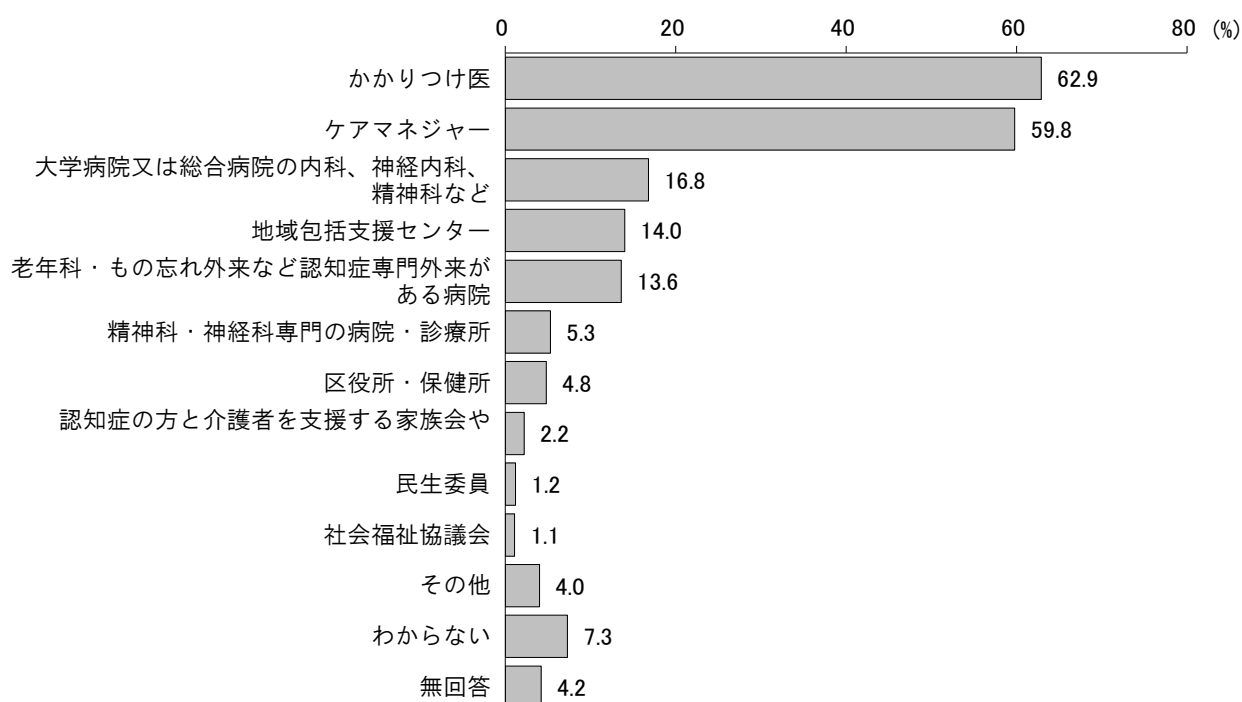
第2号被保険者調査（問11②）

- 第2号被保険者の方で、自分自身や家族等に認知症の心配が出てきたときの相談先は、「かかりつけ医」が最も高く（46.9%）、次いで「老年科・もの忘れ外来など認知症専門外来がある病院」（34.9%）、「大学病院又は総合病院の内科、神経内科、精神科など」（27.4%）「地域包括支援センター」（23.4%）などとなっています。

②要介護認定者調査（問 20）

- 要介護認定を受けている方で、認知症の心配が出てきたときの相談先は、「かかりつけ医」が 62.9%で最も高く、次いで「ケアマネジャー」が 59.8%、「大学病院又は総合病院の内科、神経内科、精神科など」が 16.8%、「地域包括支援センター」が 14.0%、「老年科・もの忘れ外来など認知症専門外来がある病院」が 13.6%などとなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、「かかりつけ医」は池上・馬込・新井宿・千束・糀谷で全体より高く、「ケアマネジャー」は鶴の木・千束で全体より高くなっています。

図表 26 認知症の心配が出てきたときの相談先



図表 27 認知症の心配が出てきたときの相談先（日常生活圏域別）

		かかりつけ医	ケアマネジャー	大学病院又は総合病院の内科、神経内科、精神科など	地域包括支援センター	老年科・もの忘れ外来など認知症専門外来がある病院	診療所・精神科・神経科専門の病院	区役所・保健所	認知症の方と介護者を支援する家族会やNPO法人	民生委員	社会福祉協議会	その他	わからない	(%) 無回答
全体		62.9	59.8	16.8	14.0	13.6	5.3	4.8	2.2	1.2	1.1	4.0	7.3	4.2
日常生活圏域別	大森東	54.7	54.7	24.4	11.6	15.1	7.0	2.3	-	2.3	1.2	4.7	7.0	3.5
	大森西	64.2	57.9	15.8	20.0	11.6	4.2	6.3	3.2	1.1	-	5.3	9.5	4.2
	入新井	57.5	60.9	17.2	18.4	10.3	5.7	5.7	3.4	-	-	4.6	11.5	1.1
	馬込	70.9	57.0	12.8	9.3	12.8	3.5	3.5	1.2	-	-	5.8	8.1	2.3
	池上	71.7	57.6	16.3	12.0	16.3	8.7	6.5	2.2	1.1	2.2	5.4	9.8	1.1
	新井宿	70.3	60.4	18.7	14.3	13.2	4.4	11.0	2.2	2.2	2.2	2.2	5.5	3.3
	嶺町	58.1	53.5	20.9	22.1	16.3	7.0	2.3	2.3	1.2	2.3	2.3	8.1	2.3
	田園調布	66.3	57.0	24.4	17.4	20.9	8.1	2.3	1.2	-	-	2.3	4.7	2.3
	鶉の木	66.3	65.3	13.9	9.9	12.9	4.0	5.0	2.0	-	-	6.9	5.9	3.0
	久が原	64.8	53.8	17.6	19.8	18.7	9.9	8.8	5.5	1.1	2.2	4.4	5.5	3.3
	雪谷	59.8	63.4	20.7	13.4	13.4	6.1	-	-	-	1.2	4.9	7.3	4.9
	千束	69.0	64.3	15.5	15.5	17.9	4.8	3.6	3.6	3.6	2.4	2.4	4.8	3.6
	糀谷	67.9	71.6	19.8	16.0	11.1	6.2	4.9	2.5	-	-	3.7	2.5	6.2
	羽田	56.1	60.2	8.2	17.3	13.3	3.1	5.1	4.1	2.0	-	3.1	11.2	4.1
	六郷	54.8	57.0	18.3	7.5	7.5	5.4	3.2	1.1	2.2	2.2	4.3	7.5	7.5
	矢口	55.7	57.7	16.5	11.3	14.4	3.1	5.2	1.0	2.1	2.1	2.1	5.2	6.2
蒲田西	61.9	61.9	17.1	11.4	18.1	4.8	6.7	3.8	1.0	1.0	3.8	3.8	4.8	
蒲田東	67.3	60.6	12.5	11.5	11.5	3.8	3.8	1.0	1.9	1.0	1.9	10.6	5.8	

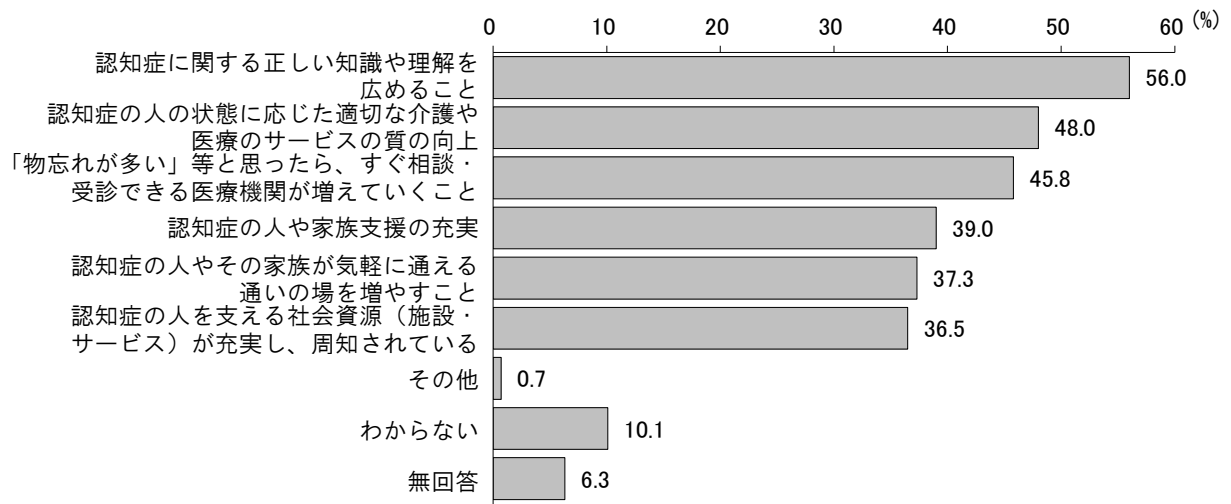
(2) 認知症に優しい地域づくりの実現に必要な取組みや支援

問 認知症の人と共に生きる、優しい地域づくりを実現するためには、どのような取組みや支援が必要だと思いますか。

①高齢者一般調査 (問 25)

- 認知症に優しい地域づくりの実現のために必要な取組みや支援は、「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が56.0%で最も高く、次いで「認知症の人の状態に応じた適切な介護や医療のサービスの質の向上」が48.0%、「物忘れが多い」等と思ったら、すぐ相談・受診できる医療機関が増えていくこと」が45.8%、「認知症の人や家族支援の充実」が39.0%などとなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」は千束・矢口で全体より高く、「認知症の人の状態に応じた適切な介護や医療のサービスの質の向上」は矢口・久が原、「物忘れが多い」等と思ったら、すぐ相談・受診できる医療機関が増えていくこと」は雪谷・糎谷で全体より高くなっています。

図表 28 認知症に優しい地域づくりの実現に必要な取組みや支援



図表 29 認知症に優しい地域づくりの実現に必要な取組みや支援（日常生活圏域別）

		(%)									
		認知症に関する正しい知識や理解を広めること	適切な介護の質の向上	認知症の人や医療のサービスの質の向上	「物忘れが多い」等と思つた療養施設が増えたり、受診できる医師が増えたり	認知症の人や家族支援の充実	認知症の通いの場を増やすこと	（施設・サービス）が充実し、周知されている	その他	わからない	無回答
全体		56.0	48.0	45.8	39.0	37.3	36.5	0.7	10.1	6.3	
日常生活圏域別	大森東	48.9	47.6	48.5	38.1	38.5	33.3	0.9	9.1	9.5	
	大森西	53.2	49.8	44.2	43.7	35.1	35.1	-	10.4	7.4	
	入新井	57.0	49.8	43.0	37.6	37.6	33.9	0.9	8.1	6.8	
	馬込	60.1	49.8	46.4	38.2	40.8	39.5	2.1	8.6	6.4	
	池上	52.8	46.7	44.1	38.0	38.9	37.1	0.4	13.1	6.1	
	新井宿	51.0	43.3	41.8	32.7	32.7	33.2	1.0	13.9	9.1	
	嶺町	60.7	52.1	42.5	42.9	40.2	40.6	0.5	7.8	3.2	
	田園調布	60.5	47.6	43.8	33.8	33.3	39.0	-	8.6	5.7	
	鵜の木	56.2	45.7	44.3	39.3	31.1	32.9	0.9	13.7	6.4	
	久が原	60.9	53.8	49.2	44.1	42.0	42.0	-	8.8	3.4	
	雪谷	59.1	52.2	54.3	44.8	42.7	41.4	0.4	4.7	3.4	
	千束	63.0	51.7	48.3	42.7	42.2	41.2	0.9	7.6	4.7	
	糀谷	55.6	45.8	51.9	37.9	41.1	33.2	0.5	10.7	7.9	
	羽田	51.5	45.4	45.8	42.3	32.6	31.7	0.4	12.8	4.4	
	六郷	54.7	42.5	45.3	33.5	33.5	33.9	0.8	11.0	7.1	
	矢口	61.7	55.1	49.8	42.4	38.7	38.3	0.4	6.6	5.3	
蒲田西	54.4	45.2	41.9	38.7	40.1	41.5	1.4	11.5	7.8		
蒲田東	51.0	44.7	40.4	31.3	30.8	29.8	-	13.9	7.7		

第2号被保険者調査

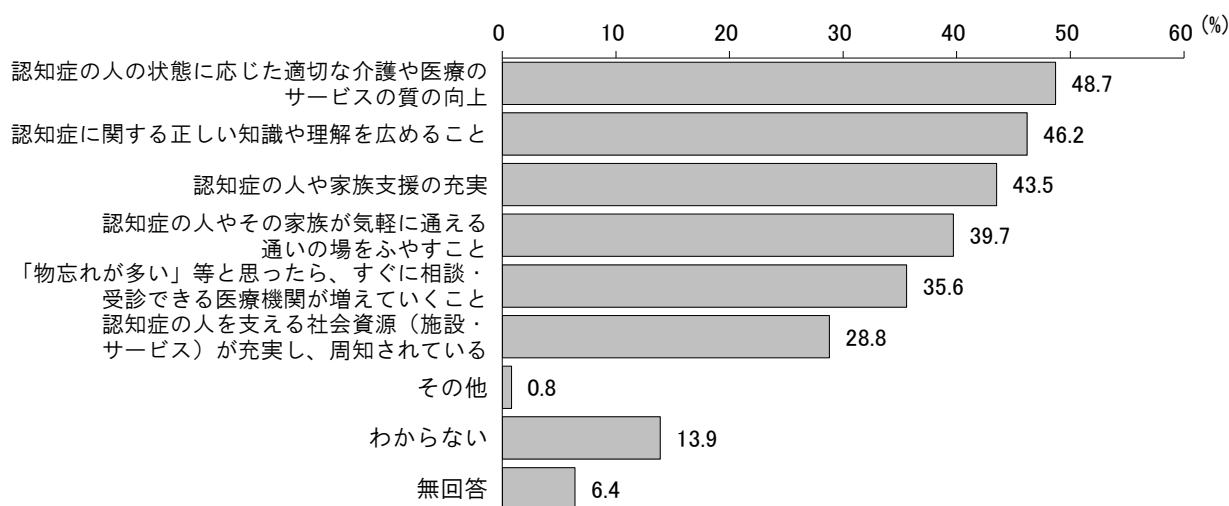
③ 第2号被保険者調査（問23）

- 第2号被保険者の方で、認知症に優しい地域づくりの実現のために必要な取組みや支援は、「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が最も高く（61.6%）、次いで「認知症の人の状態に応じた適切な介護や医療のサービスの質の向上」（59.3%）、「認知症の人を支える社会資源（施設・サービス）が充実し、周知されている」（58.1%）、「認知症の人や家族支援の充実」（54.8%）などとなっています。

②要介護認定者調査（問 21）

- 要介護認定を受けている方で、認知症に優しい地域づくりの実現のために必要な取り組みや支援は、「認知症の人の状態に応じた適切な介護や医療のサービスの質の向上」が48.7%で最も高く、次いで「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」が46.2%、「認知症の人や家族支援の充実」が43.5%、「認知症の人やその家族が気軽に通える通いの場を増やすこと」が39.7%などとなっています。
- 日常生活圏域別に区全体との比較でみると、「認知症の人の状態に応じた適切な介護や医療のサービスの質の向上」は千束・雪谷・嶺町で全体より高く、「認知症に関する正しい知識や理解を広めること」は雪谷・千束・大森西、「認知症の人や家族支援の充実」は千束・池上・羽田・大森東で全体より高くなっています。

図表 30 認知症に優しい地域づくりの実現に必要な取り組みや支援



図表 31 認知症に優しい地域づくりの実現に必要な取り組みや支援（日常生活圏域別）

		(%)												
		質 切 の 向 上	認 知 症 の 人 の 状 態 に 応 じ た 適	理 解 を 広 め る こ と	認 知 症 の 人 や 家 族 支 援 の 充 実	医 療 機 関 が 増 え て い く こ と	「 物 忘 れ が 多 い 」 等 と 思 つ た	し、 周 知 さ れ て い る	認 知 症 の 人 を 支 え る 社 会 資 源	と に 通 え る 通 い の 場 を ふ や す こ	認 知 症 の 人 や そ の 家 族 が 気 軽	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体		48.7	46.2	43.5	39.7	35.6	28.8	0.8	13.9	6.4				
日常生活圏域別	大森東	52.3	50.0	48.8	33.7	34.9	26.7	-	14.0	4.7				
	大森西	46.3	51.6	41.1	40.0	28.4	36.8	-	18.9	5.3				
	入新井	48.3	48.3	42.5	40.2	29.9	23.0	1.1	13.8	4.6				
	馬込	46.5	41.9	39.5	39.5	36.0	24.4	1.2	14.0	10.5				
	池上	53.3	41.3	55.4	46.7	35.9	32.6	1.1	15.2	2.2				
	新井宿	45.1	41.8	36.3	35.2	29.7	26.4	-	14.3	9.9				
	嶺町	54.7	45.3	45.3	36.0	27.9	25.6	-	15.1	3.5				
	田園調布	50.0	39.5	37.2	39.5	40.7	24.4	1.2	16.3	5.8				
	鶉の木	48.5	48.5	40.6	36.6	35.6	26.7	-	10.9	4.0				
	久が原	42.9	47.3	38.5	31.9	37.4	26.4	-	14.3	3.3				
	雪谷	56.1	54.9	46.3	40.2	40.2	24.4	-	12.2	3.7				
	千束	59.5	52.4	57.1	48.8	50.0	38.1	1.2	10.7	3.6				
	糀谷	38.3	43.2	40.7	37.0	33.3	28.4	2.5	14.8	7.4				
	羽田	49.0	42.9	50.0	39.8	41.8	30.6	-	14.3	9.2				
	六郷	48.4	38.7	40.9	45.2	35.5	26.9	2.2	10.8	8.6				
	矢口	48.5	50.5	47.4	37.1	40.2	30.9	-	11.3	9.3				
蒲田西	48.6	44.8	39.0	41.9	33.3	26.7	1.9	10.5	6.7					
蒲田東	45.2	49.0	39.4	32.7	34.6	29.8	1.0	18.3	9.6					